

環境経営レポート

2022年版

〈2021年3月1日～2022年2月28日〉



来ハトメ工業株式会社



| | | |
|----|--|----|
| 1. | はじめに | 2 |
| 2. | 会社概要及び環境報告の基礎情報 | 3 |
| | 1) 登録事業者の概要 | |
| | 2) 沿革①(日本の戦後と共に歩んだ当社75年の軌跡) | |
| | 3) 沿革②(当社環境活動のあゆみ) | |
| | 4) 当社従業員紹介 | |
| 3. |  経営責任者のコミットメント | 15 |
| | 1)  環境経営方針 | |
| | 2)  品質方針 | |
| | 3)  2021年度の変更点 | |
| 4. |  実施体制及びガバナンス | 17 |
| | 1)  EA21環境経営組織図 | |
| | 2)  役割責任及び権限 | |
| | 3)  2021年度の変更点 | |
| | 4)  ガバナンス(課題とチャンス、マテリアリティ分析) | |
| 5. | PDCAで見る環境関連法規遵守の取組 | 19 |
| | 1)  法規制遵守関連の環境経営計画と関連SDGs | |
| | 2)  法規制遵守状況のチェック結果 | |
| | 3)  違反・訴訟の有無 | |
| | 4)  法規制の遵守状況の評価と次年度以降の取組内容 | |
| | 5)  法規制遵守の取組に関する代表者の評価・指示 | |
| 6. | PDCAで見る緊急事態の想定とその対応策 | 23 |
| | 1)  想定させる緊急事態 | |
| | 2)  環境経営計画とSDGs | |
| | 3)  緊急事態の対応及び訓練状況 | |
| | 4)  緊急事態の想定・訓練の評価と次年度以降の取組内容、事務局からの提案 | |
| | 5)  緊急事態の想定・訓練に関する代表者の評価・指示 | |
| 7. |  数字で見る2021年度環境負荷の全体像 | 25 |
| | 1)  過去5年間の環境負荷の実績 | |
| | 2)  2021年度の実績と目標達成状況 | |
| | 3)  2021年度マテリアルバランス | |
| 8. | PDCAで見る2021年度環境活動 | 27 |
| 9. |  代表者レビュー | 49 |
| | 1)  全体的な感想 | |
| | 2)  指示 | |





来ハトメ環境トピックス2021 目次

| | | |
|---|---|----|
| ① | 従業員に聞いた「SDGsに取り組んでみて良かったこと」-私のSDGsに取り組んだ5年間で挑戦者たちが得たものは?- | 13 |
| ② | 「過去最高の結果」と「過去最低の結果」が語るものとは?~2021年度「私のSDGs」ふり返り(個人の取組)編 | 14 |
| ③ | かくして当社は二酸化炭素排出量を削減した~過去のターニングポイントと2021年度の取組(1)~ | 31 |
| ④ | かくして当社は二酸化炭素排出量を削減した~過去のターニングポイントと2021年度の取組(2)~ | 38 |
| ⑤ | 止められた時が、いま動き出した!!~福島スタディツアー参加体験記~ | 51 |

アイコン () の見方について

エコアクション21ガイドライン(2017年版)要求事項の適合性を明確にするために、主にタイトルの前等に4つのアイコン(Plan(計画)、Do(実施)、Check(確認)、Act(見直し))を付けています。

4つのアイコンは、それぞれ、以下の様な取組であることを示すものです。

-  : EA21ガイドライン要求事項1~6(計画の策定(Plan))に該当する取組であることを示します。
-  : EA21ガイドライン要求事項7~12(計画の実施(Do))に該当する取組であることを示します。
-  : EA21ガイドライン要求事項13(取組状況の把握及び評価(Check))に該当する取組であることを示します。
-  : EA21ガイドライン要求事項14(全体の評価と見直し(Act))に該当する取組であることを示します。

コロナ禍、ロシア侵攻、半導体不足と会社の状況

今の世の中、私の経験したことのない、変な状況ですね。

ロシアのプーチンさん、中国の習さんという二人の独裁者がウクライナ、香港でやりたい放題し、コロナ感染者数は一向に減少の気配が見えず、工場の火災を発端とした半導体の不足も収まりません。

その結果、世界経済は急速に落ち込み、私共の会社も深刻な不景気に見舞われております。

前期は久しぶりに臨時の決算賞与を支給することができ、本来であれば今期もそのまま好調が持続できそうな気配でしたが、あれよあれよという間に変調をきたしてしまいました。

世の中、こんなものだと思えば腹も立ちませんが、変化の速度が若い頃と比べてびっくりするくらい速いので驚いています。

そう考えれば今の状況も、急に変化することも考えられますので、心からの期待を込めて「2022年度景気歌暦」を作ってみました。

| | |
|--------|-------------|
| 3月 | 惨憺たる受注数 |
| 4月 | 死んだふりする受注数 |
| 5月 | ゴロ寝の受注数 |
| 6月 | 朗報に期待して |
| 7月 | なんだかんだと薄明かり |
| 8月 | 破格の受注数 |
| 9月 | 苦境も嘘のよう |
| 10月 | 受注は目一杯 |
| 11,12月 | 暇知らず |
| 1月 | 一路高みを望みつつ |
| 2月 | とうとう2億ゼロ |

当たるも八卦、当たらぬも八卦。しかし従業員の皆様にとっては真剣な話なのでこうなってほしいと思います。

来ハトメ工業株式会社
取締役会長(EA21代表者) 来 満

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

1) 登録事業者の概要

(1) 事業者及び代表者名(報告対象組織)

事業者名：来ハトメ工業株式会社

代表者名：取締役会長 来 満

(2) 所在地(本社・工場共に下記住所)

〒 340-0822

埼玉県八潮市大瀬203-1

URL <http://www.rai-hatome.co.jp>

(1)及び(2)の全組織・全活動をエコアクション21への取組の対象範囲とする

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者名：環境管理責任者 石原 隆雅

連絡先：TEL 048(995)5138 FAX 048(996)0580

e-mail yashio@rai-hatome.co.jp

(4) 事業内容

アルミ製コンデンサ部品及びその他の部品類の製造・販売

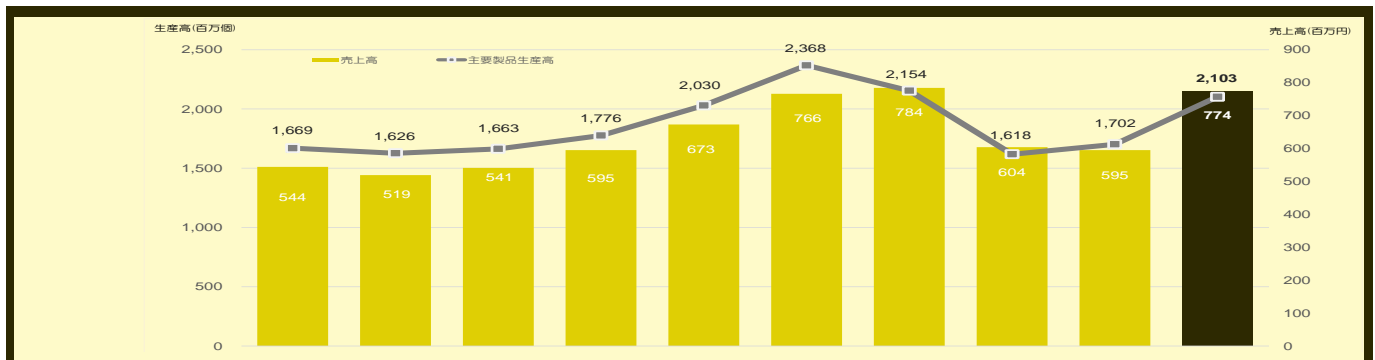
(5) 創業年月日

1946(昭和21)年3月6日

(6) 資本金

3,000万円

(7) 事業規模



| 項目 | 年 度 | | | | | | | | | | 単位 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | |
| 主要製品生産高 | 1,669 | 1,626 | 1,663 | 1,776 | 2,030 | 2,368 | 2,154 | 1,618 | 1,702 | 2,103 | 百万個 |
| 売上高 | 544 | 519 | 541 | 595 | 673 | 766 | 784 | 604 | 595 | 774 | 百万円 |
| 従業員数 | 41 | 40 | 38 | 37 | 36 | 37 | 35 | 33 | 33 | 36 | 人 |
| 事業所延床面積 | 2,570 | 2,570 | 2,570 | 2,570 | 2,570 | 2,570 | 2,570 | 2,570 | 2,570 | 2,570 | m ² |
| 事業所敷地面積 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | m ² |

2021年度決算短観及び今後の展望

世界的な自動車、通信業界のからの旺盛な需要に支えられ、いつになく好調な滑り出しを見せた2021年。半導体メーカーの工場火災に端を発する半導体不足や、デルタ株の猛威といった不安要素があり、下期(9~2月)こそ若干トーンダウンしたものの、年間を通じて好調を維持。前年度比23.5%増、4年ぶりに年間20億個の水準を回復した生産高、前年度比30%増の売上高

からも、こうした状況を感じ取って頂けることでしょう。

相変わらずの新型コロナに半導体不足、物価高騰、更にはロシアのウクライナ侵攻……と不安要素満載の2022年。それらに引張られ足元は若干低調ではありますが、こんなときこそ長年の環境活動で培った知恵と粘り強さが生きるはず！そう信じています。

(8) 当社主力製品並びに主要取引先

● アルミ電解コンデンサ用アルミケース(売上構成比99%)



我々の豊かな暮らしを支える家電製品や自動車。これらの心臓部とも言うべき基盤部分で、実は当社の製品が活躍していることを、皆様は御存じでしょうか？

電子基板のあちこちで、独特の存在感を放つアルミ電解コンデンサの骨格部分とも言うべきアルミケースこそ、当社の主力製品！なのです。

主要御取引先： 日本ケミコン株式会社様
ルビコン株式会社様 他

● 建築金物(写真左)、香水プッシュボタン・ネジ(写真右)(売上構成比1%)

当社が得意とする「アルミ深絞り加工」は、アルミ材料を円筒形に加工する技術。

このアルミ深絞り加工の応用によって誕生したのが、これらの製品群。

主要御取引先： カネダ株式会社(建築金物)
(有)都プレス工業所(香水)

上記御取引様を通じ、それぞれ、大手メーカー様へ納入しています。



(9) 当レポートの報告対象期間

2021(令和3)年3月1日～2022(令和4)年2月28日

(10) 当レポートの基準・ガイドライン等

- エコアクション21ガイドライン2017年版(環境省) 及び
- 環境報告ガイドライン2018年版(環境省)

(11) 当社環境報告の全体像(3つの社内媒体と充実の外部媒体)

■ 社内媒体

● 紙媒体

● 当社Webサイト

● Youtubeチャンネル

■ 外部媒体

● エコアクション21中央事務局HP

● CSR図書館.net

各媒体右端のQRコードより各媒体の当社環境情報をご覧頂けます。是非ご活用ください。

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

2) 沿革①(日本の戦後と共に歩んだ当社の75年の軌跡)

1946 ～1965 草創期 ～「下町の小さな商社」からの出発～

- 1946 . 3 東京都荒川区三河島にて「來商店」創業
- 1952 . 7 「有限会社來商店」と改組
- 1952 . 8 東京都足立区柳原に協力工場設置
- 1953 . 10 東京都葛飾区奥戸本町に協力工場設置(当時の従業員数：4名)
- 1956 . 6 東京都台東区入谷に移転(主力製品：時計バンド、磁気バンド)
- 1962 . 12 「有限会社來ハトメ店」と改称
- 1963 . - このころ、プラグ業界へ進出する
- 1963 . 10 電解コンデンサ用アルミケース生産が始まる(当初は外注)

1965 ～1974 念願の工場設立 ～メーカーへの第一歩～

- 1966 . 3 東京都葛飾区新宿町に「金町工場」設立
- 1971 . 4 東京都台東区入谷1-33-5に本社移転

1974 ～1998 八潮工場設立 ～金属部品メーカーとして大きく発展～

- 1974 . 4 來ハトメ工業株式会社と改組。資本金1,000万円
- 1975 . 3 増資。資本金2,500万円に
- 1990 . 3 本社機能を全て八潮工場へ移管
- 1996 . 3 増資。資本金3,500万円に
- 1996 . 6 「ガラス容器用蓋」を開発。特許取得

1998 ～現在 アルミ材加工专业化、品質環境認証取得、各賞受賞

- 1998 . 3 鉄、真鍮から撤退、アルミ材料専門メーカーになる
- 2004 . 1 炭化水素洗浄設備を導入(業界初)
- 2005 . 7 ISO9001:2000の認証取得
- 2007 . 3 年間売上高10億円を達成
- 2010 . 6 エコアクション21認証取得
- 2017 . 7 新製品「段付きリベット」量産開始
- 2018 . 7 ISO9001:2015への移行完了
- 2021 . 5 中小企業庁「事業継続力強化計画」認定を受ける
- 2021 . 7 埼玉県経営革新計画の承認を受ける



創業当時の社屋前にて(昭和24年頃)



事務作業(1990年頃)



「埼玉ビジネスウォッチ」より

3) 沿革②(当社環境活動のあゆみ)

2009

～2014

ドタバタの草創期(0～5年目)～目指せ「5年で大賞」!!～



- 2010 . 9 エコアクション21認証取得
- 2010 . 10 環境コミュニケーション大賞の存在を知り「5年で大賞」の目標を掲げる
- 2012 . 2 第15回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門奨励賞受賞
- 2013 . 3 第16回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門環境大臣賞受賞
- 2013 . 6 『平成25年版環境白書』(環境省)にて当社事例紹介される
- 2014 . 10 『日経エコロジー11月号』(日経BP社)にて当社事例紹介される

Report history
レポートの歴史



2010



2011



2012



2013



2014

2014

～2018

驚異の成長期(5～10年目)～連続受賞の誇りを力に変えて～



- 2015 . 2 第18回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優良賞受賞
- 2015 . 3 第17回彩の国埼玉環境大賞優秀賞受賞
- 2015 . 7 『埼玉ビジネスウォッチ』(テレビ埼玉)にて当社事例紹介される
- 2015 . 8 「環境 人づくり企業大賞2014」大賞(環境大臣賞)受賞
- 2015 . 12 『中小企業が環境をダシに儲ける本』(日経BP社)にて当社事例紹介される
- 2016 . 2 第19回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優秀賞
- 2016 . 5 「環境 人づくり企業大賞2015」優秀賞受賞
- 2017 . 2 第20回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門環境大臣賞受賞
- 2017 . 9 国連持続可能な開発目標(SDGs)ケーススタディ(環境省)に参加
- 2018 . 2 第21回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優秀賞受賞

Report history
レポートの歴史



2015



2016



2017



2018



2019

2019

～現在

まだまだ成長期(11年目～現在)～進化の流れは絶対に止めない!～



- 2019 . 1 『各月刊 地球温暖化』(日報ビジネス社)にて当社事例紹介される
- 2019 . 2 第22回環境コミュニケーション大賞環境経営レポート部門環境大臣賞受賞
- 2020 . 2 『環境経営者 2020年2月号』にて当社事例紹介される
- 2020 . 2 環境コミュニケーション大賞環境経営レポート部門殿堂入り
- 2021 . 2 第24回環境コミュニケーション大賞環境報告部門優秀賞受賞
- 2021 . 10 中小企業の中長期の削減目標に向けた取組可能な対策行動の可視化モデル事業(環境省)参加
- 2022 . 2 エコアクション21オブサイヤー2021ソーシャル部門銅賞受賞

Report history
レポートの歴史



2020



2021



2022




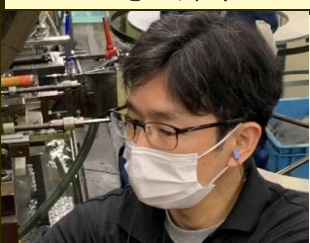

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

4) 当社従業員紹介

(1) 電子部品産業を支える「名プレス工達」～プレスオペレーター～

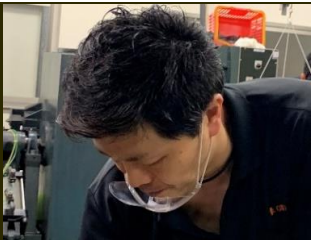















| | |
|--|--|
|  | <p>① 16年目 ② —</p> <p>③ 廃棄物(事業系一般廃棄物)、緊急事態(油漏出訓練) ミスなく仕事する。</p> <p>④ 安全運転する。 健康に気を付ける。</p> |
| <p>加茂 隆弘</p> | <p>① 16年目 ② —</p> <p>③ 廃棄物(廃アルミ)、環境ボランティア 保護猫の里親となり、責任をもって飼育する。</p> <p>④ マイ箸を持ち歩き、使用する。</p> |
|  | <p>① 16年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力) 家庭での節電を行う。</p> <p>④ ゴミを削減する。 水を大切に使用する。</p> |
| <p>加藤 直</p> | <p>① 16年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力) 家庭での節電を行う。</p> <p>④ ゴミを削減する。 水を大切に使用する。</p> |
|  | <p>① 16年目 ② —</p> <p>③ CO₂(電力) 家庭での節電を行う。</p> <p>④ ゴミを削減する。 水を大切に使用する。</p> |
| <p>田辺 栄一</p> | <p>① 5年目 ② —</p> <p>③ CO₂(LPG)、法規制(業務用エアコン簡易点検) 買い溜めをしない。</p> <p>④</p> |
|  | <p>① 1年目 ② —</p> <p>③ 法規制(騒音測定) 水を無駄遣いしない。</p> <p>④ 見切り品をなるべく使う。 エコバッグの使用を継続する。 家事への参加。</p> |
| <p>グエン ヴァン トゥアン</p> | <p>① 1年目 ② —</p> <p>③ 法規制(騒音測定) 水を無駄遣いしない。</p> <p>④ 見切り品をなるべく使う。 エコバッグの使用を継続する。 家事への参加。</p> |
| | <p>① 勤続年数 ② 社内役職</p> <p>③ エコアクション21担当項目</p> <p>④ 主な私のSDGs(SDGsに関する個人目標) 期間:2020年3月～2021年2月</p> |
| <p>表の見方</p>  <p>顔写真</p> <p>氏名</p> | <p>④ 主な私のSDGs(SDGsに関する個人目標) 期間:2020年3月～2021年2月</p> <p>主なSDGsアイコン</p> |

(2) 金型製造、修理のスペシャリスト達～金型製造・修理～





























| | |
|---|--|
|  | <p>① 44年目 ② 代表取締役社長</p> <p>③ 地域貢献(環境ボランティア)</p> <p>④ コンビニ募金の継続。 エコドライブの深掘り。 不良低減。 ゴールド免許の継続。</p> |
|  | <p>① 38年目 ② 取締役工場長</p> <p>③ 廃棄物(紙くず)</p> <p>④ 町会のゴミ0運動参加。 町会の防犯パトロールへの参加。 家事への参画を心掛ける。</p> |
|  | <p>① 25年目 ② 製造課長 兼 副工場長</p> <p>③ 廃アルミ(材料歩留まり)、廃棄物(廃ウエス)</p> <p>④ 使えるものは、とことん使う。 色々な人と仲良くする。 エコ運転を心掛ける。</p> |
|  | <p>① 24年目 ② 係長 兼 安全衛生推進者</p> <p>③ 法規制(労働安全衛生)</p> <p>④ 街中でゴミが落ちていたら、ゴミ箱に捨てる。 車のメンテナンスを自分で実践する。</p> |
|  | <p>① 16年目 ② 主任</p> <p>③ 水、有害化学物質(啓発教育)、環境ボランティア</p> <p>④ 地球環境に関する知識を深める。 ボランティア活動に参加する。 感染症対策を怠らない。</p> |
|  | <p>① 13年目 ② 主任</p> <p>③ CO₂(ガソリン)、環境ボランティア</p> <p>④ 後輩を教育し、技術や考えの伝承に努める。 ものを長く使用し、無駄なものは買わない。 他県へ積極的に出かける。 目についた困っている人をすぐに助ける。</p> |


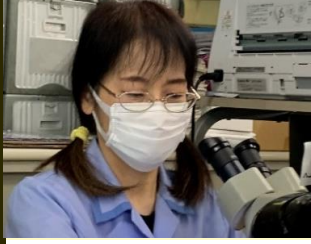

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

(3) 「脱脂洗浄」以上の価値の追求 ～洗浄工程～

| | | | | | | | | | | |
|---|---|------------------------|---|---|---|---|---|---|---|--|
|  来 淳一郎 | ① | 25年目 | ② | 営業課長 | | | | | | |
| | ③ | EA21製造部門責任者、化学物質(潤滑油)他 | | | | | | | | |
| | ④ | 効率的な洗浄作業に努める。 | | | |  |  |  |  | |
| | | 水の無駄遣いをしないようにする。 | | | |  |  |  | | |
|  斉藤 進 | ① | 17年目 | ② | — | | | | | | |
| | ③ | 化学物質(炭化水素) | | | | | | | | |
| | ④ | 油断と慢心を排し、安全運転に努める。 | | | |  | | | | |
| | | 新型コロナウイルス対策を続ける。 | | | |  | | | | |
| 災害用品を準備しておく。 | | | |  |  |  |  | | | |
|  ガヤルラン ショウジ | ① | 1年目 | ② | — | | | | | | |
| | ③ | CO ₂ (電力) | | | | | | | | |
| | ④ | 2022年度より「私のSDGs」スタート | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

(4) 営業、検査から雑用までもこなす「何でも屋」～2F管理部門～

| | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------------------|---|---|---|---|---|---|---|--|
|  来 満 | ① | 52年目 | ② | 取締役会長 兼 管理部長 | | | | | | |
| | ③ | EA21代表者、継続的改善 | | | | | | | | |
| | ④ | 朝、会社の前のゴミ拾いを継続実施。 | | | |  |  |  | | |
| | | 食事のカロリー制限と運動の継続実施。 | | | |  | | | | |
| 土、日に1時間程度、やや速足で歩く。 | | | |  | | | | | | |
| 昼の弁当、食べない分は他の人にあげる | | | |  | | | | | | |
|  佐々木 勝 | ① | 29年目 | ② | 管理課長 | | | | | | |
| | ③ | EA21管理部門責任者、緊急事態(避難訓練)他 | | | | | | | | |
| | ④ | 昼の弁当のご飯の残りは持ち帰り家で食べる。 | | | |  |  |  | | |
| | | 風呂の残り湯は洗濯に再利用。 | | | |  |  |  | | |
| プラスプーン、ストローはもらわない。 | | | |  |  |  | | | | |
| 昨年度の個人目標を継続する。 | | | |  | | | | | | |
|  石原 隆雅 | ① | 17年目 | ② | 係長 兼 ISO9001管理責任者 | | | | | | |
| | ③ | EA21環境管理責任者、法規制、生物多様性他 | | | | | | | | |
| | ④ | どんなに仕事で遅くなっても毎日勉強する。 | | | |  | | | | |
| | | 皿洗いと節水の両立。 | | | |  |  |  |  | |
| 今年も毎日一万歩以上歩き続ける。 | | | |  | | | | | | |
| 地元消防団、環境NPO法人活動への積極参加。 | | | |  |  |  | | | | |

| | |
|---|---|
|  <p>来 博行</p> | <p>① 10年目 ② 主任</p> <p>③ eco検定講座、ペットボトルキャップ収集他</p> <p>④ 当社業績向上に努力する。 社内の新型コロナウイルス対策を徹底する。 1日に1回は全社員と話し雰囲気良化に努める。 引続きマイカーの燃費検証に努める。</p> |
|  <p>グエン ミン キエン</p> | <p>① 1年目 ② -</p> <p>③ 法規制(業務用エアコン簡易点検)</p> <p>④ 電気と水を節約する。 ごみを分別する。 毎週運動する。 酒、タバコの量に注意する。</p> |
|  <p>福田 則子</p> | <p>① 30年目 ② 主任</p> <p>③ グリーン調達</p> <p>④ 古いエアコンをエコ替える。 水道の出しっぱなしに気を付ける。 週3回以上のウォーキングをする</p> |
|  <p>岡本 恵子</p> | <p>① 23年目 ② -</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>④ 1週間の献立を立て必要な食品だけ購入する。 職場の作業と環境改善を男性社員と協働で行う。 ペットボトルキャップの収集。 町会の夜のパトロール参加を継続する。</p> |
|  <p>山田 亜由美</p> | <p>① 23年目 ② -</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>④ 詰め替え製品を使用しゴミを減らす。 健康維持のためウォーキングをする。 食べ物を工夫して使い切る。 エコバッグやマイボトルを持ち歩く。</p> |
|  <p>安田 ジョセフィーナ</p> | <p>① 23年目 ② -</p> <p>③ CO₂(電力)、廃棄物(分別)</p> <p>④ 無駄な買い物を控えてエコに心がける。 エアコンを弱めに設定する。</p> |

2.会社概要及び環境報告の基礎情報


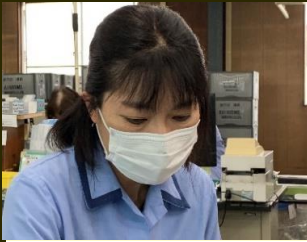
2F管理部門従業員

| | |
|---|--|
|  三輪 千鶴 | ① 20年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 規格外の野菜などを積極的に活用する。 エコバッグ使用を継続する。 ④ 詰め替え可能な製品を利用する。 5Sなど、男性との協働の機会を増やす。 |
|  稲葉 エリザベス | ① 19年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 節約に努める。 整理整頓に努める。 ④ 自分でできることは自分で行い節約に努める。 |
|  山本 マリア | ① 18年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 精神性を向上させる。 健康維持に努める。 ④ |
|  大小堀 レオニラ | ① 18年目 ② — ③ 備品コスト意識改善他 節約に努める(美容室代をうかす)。 ④ |
|  大西 百合子 | ① 16年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 太陽光を利用して電気代を節約。 余ったおかずをリメイクして活用。 ④ ペットボトルキャップ収集の継続。 |
|  田中 ジェバチキ | ① 16年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) チームワークを大切にする。 ④ お金は計画的に使う。 |

| | |
|--|--|
|  丹羽 アンジェリカ | ① 16年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 食で家族の健康を守る。 毎日10分くらい散歩する。 なるべく笑顔でいるようにする。 ④ ④ ④ ④ いつもポジティブに考える。 |
|  坂本 ルシール | ① 15年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 無駄な買い物をしない。 電気、水道を節約する。 ④ ④ ④ ④ |
|  大塚 アデリーナ | ① 15年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) ペットボトルと缶の分別、リサイクル。 ④ ④ ④ ④ |
|  深井 美樹 | ① 13年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 健康維持のため毎日ウォーキング。 エコラベル商品を購入に努める。 ④ ④ ④ ④ 節電、節水を心掛ける。 エコドライブでCO ₂ 削減。 |
|  星野 ウェンディ | ① 5年目 ② — ③ CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) 洗濯洗剤の使用を減らす。 なるべく自転車、徒歩、公共交通機関を使う。 ④ ④ ④ ④ |
| 表の見方  顔写真 氏名 | ① 勤続年数 ② 社内役職 ③ エコアクション21担当項目 ④ ④ ④ ④ 主な私のSDGs(SDGsに関する個人目標) 期間:2020年3月~2021年2月 主なSDGsアイコン |

2.会社概要及び環境報告の基礎情報

2F管理部門従業員

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|----|----|----|
|  <p>佐藤 ジュリタ</p> | ① | 5年目 | ② | — | | | | |
| | ③ | CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) | | | | | | |
| | ④ | 有料ゴミ袋の節約。 | | | | 11 | 12 | |
| | | 夏は窓を開け、扇風機の使用を控える。 新聞等、リサイクルできるものはリサイクルする。 | | | | 3 | 7 | 12 |
|  <p>伊佐 哲子</p> | ① | 1年目 | ② | — | | | | |
| | ③ | CO ₂ (電力)、廃棄物(分別) | | | | | | |
| | ④ | 食品、日用品を使い切る。 | | | | 2 | 12 | 14 |
| | | 近距離は徒歩、自転車で移動する。 | | | | 3 | 7 | 12 |

来ハトメ環境トピックス2021

①従業員に聞いた「SDGsに取り組んでみて良かったこと」

～「私のSDGs」に取り組んだ5年間で挑戦者たちが得たものは?～

先行者として

「中小企業のパイオニアになる!」という、何ともよこしまな動機からスタートを切った当社のSDGsもスタートから早5年。そんな当社ではありますが、SDGs先行者だからこそ見えてきた部分があるのもまた事実。

ここでは、「私のSDGs」を5年続けてきた当社従業員が実際に感じた「SDGsに取り組んでみて良かったこと」アンケートの結果(2022年3月実施)をここに披露し、SDGsを続けることによって得られる人間の変化を感じ取って頂ければ幸いです(注:あくまで個人の感想です)。

SDGsを続けてこないいいことがありました!

① モノやエネルギーの節約につながった

こちらが堂々の最多回答。SDGsへの取組を通じて、自身の消費行動に意識が向くようになり、モノやエネルギーの無駄遣いに気付き、改善・節約につながった、という理想的なループを多くの従業員が経験したようです。

② 目標があるから頑張れる

「私のSDGs」で立てられた目標を見ると、正直「無理してんな……」って思うこともしばしば。でも、その目標に向けてみんな頑張る、達成まで見事こぎつける方も多数誕生!まさに「目標、悔るなかれ」ですね。

③ 体重が減った

これも割と多い回答。「毎日ウォーキングする」とか「近距離の移動は自転車か徒歩で」とか、みんな無理して頑張っています。かく言う私も「一日一万歩以上計画」を実践中!お陰様で続いてはいるものの、体重の方は……、そこは御想像にお任せします……。

④ 効果実感(少数意見の数々)

- 子供にSDGsについて教えてあげられる。
- SDGsのニュースに興味湧く。
- 仲間がたくさん増えた。
- 目標の資格を取得することができた。
- エコドライブの成果に喜びを感じる。
- 地球環境問題が私事になった。
- できる範囲で目標を立てられるのがいい。
- できなかったことへの達成意欲が湧く。といった具合に、多くの方が効果を実感!次はあなたの番です!!

最後に 当社社長が感じたよかったこと

因みに、当社社長はこう言っています。

SDGsに取り組んだことで、私事よりも会社全体、及び世界全体へと視野が広がったと思います。今後の会社のあるべき形や、社会全体から見た自分のこれから等、色々な思考が頭の中をめぐり続けています。

トップにそこまで言わしめるSDGsって、やっぱり偉大!ですね。

来ハトメ環境トピックス2021

② 「過去最高の結果」と「過去最低の結果」が語るものとは？

～2021年度「私のSDGs」ふり返り(個人の取組) 編～

結果は「過去最高」と「過去最低」

SDGsに取組んでよかったことを前のページでお伝えしようとしたところ、気づいてみればどこかの通販番組の様な流れであえなく終了……。ここはひとつ気を取り直して無事5クール目を終えたばかりの「私のSDGs」の「ふり返り」結果を御報告します。

実は通算5回目の今回見えてきたのは「過去最高の結果」と「過去最低の結果」の2つ。この全く相反する2つの結果が意味することを紐解きながら、2021年度の「私のSDGs」を総括してみようと思います。

「過去最高」だったアイコンベース取組数

右の表は「私のSDGs」初年度から現在までの年度別のアイコンベース、すなわち全員から集めた目標をSDGsの17のゴールに当てはめたとき、合計でいくつのアイコンが付いたか、の数の推移を表したものだ。

| 年度 | アイコン数 |
|------|-------|
| 2017 | 143 |
| 2018 | 160 |
| 2019 | 177 |
| 2020 | 236 |
| 2021 | 266 |

アイコンベース取組数
(2017～2021年度)

結果としては過去最高だった去年を30個も上回る266個。確かに昨年は新入社員を3人迎えるなどの要因があったことは間違いありませんが、それを差し引いても自信をもって大幅増加と言える結果ではないかと思えます。

では、この30個の増加をどう読み解くか、ということになるかと思いますが、これについては「当社従業員の多くがたくさんの新しいことに挑戦しようとしたことの結果」ではないか、ととらえています。

新しいことへの挑戦は、人を成長させ、ひいては組織を強くするもの。もしかしたら、当社従業員が「私のSDGs」の取組を通じて得た経験の一つ一つが、当社を強くする一つのきっかけともなり得るかも知れない――。

そんな超ポジティブ思考をもたらす「過去最高」の結果。ここまでは安堵を感じた2021年度の「ふり返り」でした。

その一方で「過去最低」も……

全てにおいて理想的は結果が出て「昨年度の「私のSDGs」は最高の結果に終わりました！」と言えればかっこいいのですが、そうはいかないのも

また、残念ながら当社流……。 「過去最高」の裏で「過去最低」だったこともバッチリ存在していたのです……。

この「過去最低」を記録したもののこそ、右の表に示した「私のSDGs」評価点。これは、各自が年初に立てた目標が達成できたかどうかを年度末に10点満点で自己評価し、全員分の平均から割り出

| 年度 | ※評価点 |
|------|------|
| 2017 | 7.8 |
| 2018 | 7.9 |
| 2019 | 7.9 |
| 2020 | 7.6 |
| 2021 | 7.5 |

「私のSDGs」評価点
(2017～2021年度)
※評価点は10点満点

したものだ。当然、評価点は高ければ高いほど一生懸命取り組み、満足のいく結果が得られたことを意味するわけで、これが過去最低だったということは、最も取組の熱量が低かったことの結果、と思われるがちですが、ここは「ちょっと待った！」事務局として、この結果への反論をしておかなければなりません。

| SDGs目標 | 評価点計 | 満点 | 総合評価点 |
|-------------|------|------|-------|
| 1 貧困撲滅 | 37 | 40 | 9.3 |
| 2 食料問題解決 | 97 | 130 | 7.5 |
| 3 健康 | 251 | 320 | 7.8 |
| 4 教育 | 72 | 110 | 6.5 |
| 5 男女平等 | 63 | 100 | 6.3 |
| 6 水 | 64 | 100 | 6.4 |
| 7 エネルギー | 144 | 190 | 7.6 |
| 8 経済成長、労働 | 64 | 90 | 7.1 |
| 9 インフラ、産業化 | 37 | 60 | 6.2 |
| 10 不平等差是 | 69 | 110 | 6.3 |
| 11 都市、居住 | 139 | 170 | 8.2 |
| 12 生産、消費 | 499 | 640 | 7.8 |
| 13 気候変動対策 | 144 | 190 | 7.6 |
| 14 海洋保全 | 76 | 90 | 8.4 |
| 15 陸域保全 | 39 | 50 | 7.8 |
| 16 平和、司法 | 93 | 120 | 7.8 |
| 17 パートナーシップ | 120 | 150 | 8.0 |
| 平均 | 2008 | 2660 | 7.5 |

「私のSDGs」ゴール別評価点結果(2021年度)

上のグラフは、2021年度のゴール別の評価点を示したものだ。取組開始時の課題だった「全員分を合わせても全てのゴールが揃わない」ということはしっかり解消され、数の多少はあれどバランス良く取組がなされている様子が見取れます。また、得点が低い部分については、目標6(水)のような例外を除き、その他は従来の取組では取り組むのが難しいだけでなく、得てして評価が辛くなりがちの部分が多く含まれていることも分かります(目標8,9など)。

今年度の結果を一言でまとめれば「果敢に挑戦すれど満足のいく結果が得られず」といったところではないでしょうか。まあ、挑戦がなければ成長もないわけで、その点は評価しつつ、昨年度は挑戦の年、今年度が収穫の年と考えれば、今年は希望でいっぱいなのかも？そんな気さえます。

以上、終始ポジティブで通した、事務局的2021年度「私のSDGs」ふり返り報告でした。

3.経営責任者のコミットメント



「経営責任者のコミットメント」とは

経営責任者(代表者)のコミットメント(誓約、固い約束)、すなわち、経営責任者が自らの言葉で、全ての利害関係者の皆様と交わす固い約束といった意味になります。
このことから分かるようにこの「経営責任者のコミットメント」は、企業の活動の方向性を決定する、大変重要な事項であるともいえます。



1) 環境経営方針


当社の社業である金属製品製造には、多量の天然資源やエネルギーの使用が不可欠です。そのため、事業を永続的なものとするためには、これらの持続可能な利用に資するための活動、すなわち、環境保全活動への積極的な取組が大きな鍵を握るものと考えます。

当社は、従業員の自主性に基づく環境保全活動を通じ、環境負荷の低減と御得意先様の満足、更には従業員の成長を実現させつつ、社業を持続可能なものとすることを経営の重要課題の一つとしてとらえ、次の行動指針を定めます。

- 1 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるために、次の取組を行います。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減(2030年に2013年比50%削減を目標とする)
 - ② 分別排出、使い切り等による廃棄物排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減並びに雨水の有効活用
 - ④ 不良品の発生削減による材料歩留まりの向上
 - ⑤ グリーン調達の推進
 - ⑥ 有害化学物質の取扱い禁止並びに化学物質使用量の削減及び適正管理
- 2 エコアクション21の取り組みにより環境への取り組みの継続的な改善を図り、活動の質の維持・向上に努めます。
- 3 事業活動に適用される環境法規制を遵守します。
- 4 環境教育・訓練の実施により、全ての社員に環境経営方針を周知徹底すると同時に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
- 5 生物多様性に関する従業員教育を実施するとともに、その保全と持続可能な利用のための取組を推進します。
- 6 ボランティア活動等を通じて、地域貢献に取り組みます。
- 7 5Sを徹底し、社内美化及びカイゼン活動に取り組むと同時に、事業活動内に潜む様々なリスクやムダの「見える化」とその排除に努めます。
- 8 全従業員に対し、SDGs(持続可能な開発目標)の周知及び普及に努めると同時に、継続的にSDGsが掲げる目標実現のための活動に取り組みます。
- 9 環境方針等、必要な情報を開示します。

2019年3月1日改訂
来ハトメ工業株式会社

取締役会長(EA21代表者)

来 浩 

この「経営責任者のコミットメント」、エコアクション21ガイドラインにおいても、「環境経営方針」として、しっかり要求事項に含まれています。「環境経営方針」とは、代表者が自らの言葉で定めて誓約するもの。用語の違いこそあれど「経営責任者のコミットメント」が意味するものと全く同じです。

ここでは、「環境経営方針」と同様に、代表者の誓約にあたる「品質方針」も併せて掲載します。



2) 品質方針

御得意先様の満足をもって、我社の満足とする。

御得意先様の満足水準の高度化に対しても常に応えられる様、品質マネジメントシステムを確立し、そのレベルの維持向上に対する努力を継続的に続ける。

2013年3月1日

来ハトメ工業株式会社

来 昌 伸 



3) 2021年度の変更点

● 環境経営方針

2021年度は、環境経営方針の変更はありませんでした。

昨今、世界的に脱炭素化(カーボンニュートラル)達成に向けた動きが急速に加速し、我が国においても2021年4月に地球温暖化対策計画が改訂され、「2030年度において、温室効果ガス46%削減(2013年度比)を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」ことが表明されました。当社は一事業者の立場として、国の目標に呼応すること、そして更にその上を目指し行動することは当然のことであると考えます。

そこで2021年度を新たな二酸化炭素排出量の削減目標策定のための準備の年と位置付け、2021年度中に脱炭素に向けた様々な取組及び研究を実施し、その結果を踏まえ、2022年度にカーボンニュートラルも見据えた新たな削減目標を策定することとしました。

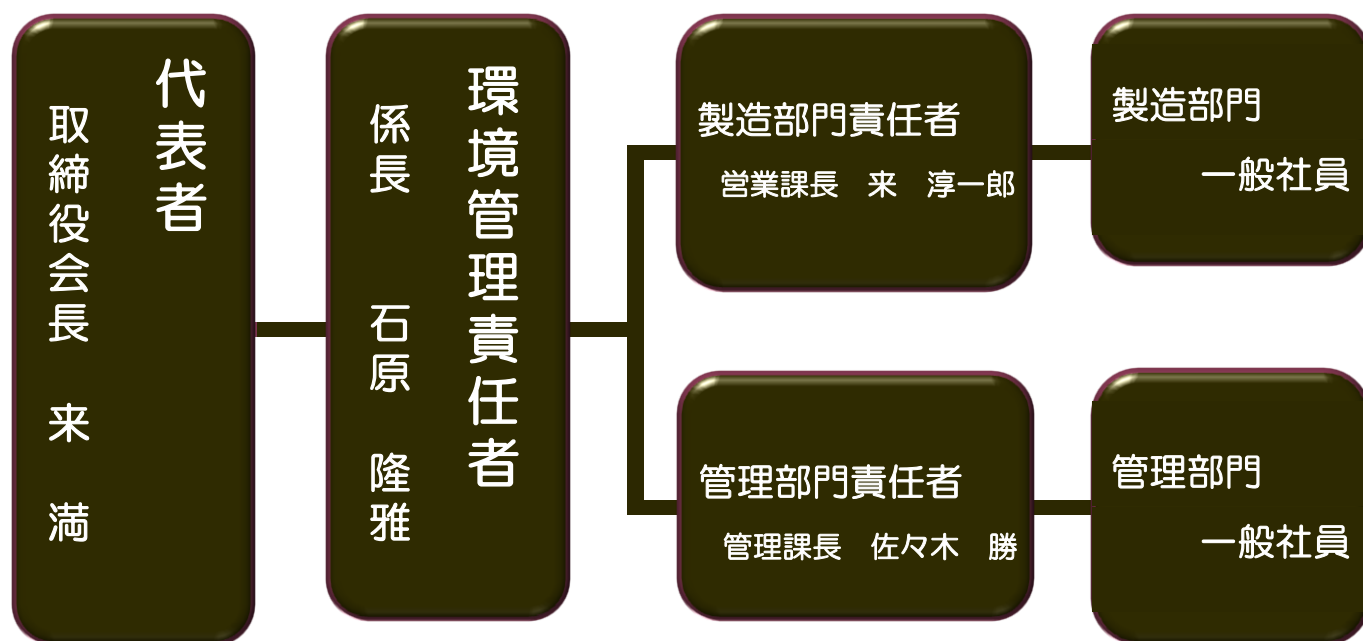
● 品質方針

2021年度は、品質方針の変更はありませんでした。

4.実施体制及びガバナンス



1) EA21環境経営組織図



2) 役割責任及び権限

| 役割(職位) | 責任 及び 権限 |
|-------------|---|
| 代表者 | 1 . 環境経営方針の制定、誓約及び従業員への周知 2 . 環境管理責任者の任命 3 . 環境経営資源の確保 4 . 是正・予防処置発生時のフォロー、並びに指示 5 . 全体の取組状況の評価と見直し、並びに指示 |
| 環境管理責任者 | 1 . エコアクション21活動全般の施策・運用 2 . エコアクション21の実施記録を経営者に報告 3 . 各種環境関連文書の記録の管理 4 . 環境関連法規の遵守に関する教育 5 . 環境経営レポートの作成、公表 |
| 製造(管理)部門責任者 | 1 . 環境経営目標に即した自部門の環境経営計画の策定・実施 2 . 自部門の環境経営計画の実施状況を環境管理責任者に報告 3 . 自部門の一般社員に対する環境教育の実施 |
| (各部門)一般社員 | 1 . 各担当項目の施策策定及び施策の実施 2 . 各担当項目の実施状況を環境管理責任者に報告 3 . 担当項目以外の環境保全活動への協力 4 . 環境関連法規に関する知識習得及びその遵守 5 . 活動を通じての部門責任者、環境管理責任者への提案 6 . 各家庭における環境教育の実施 |



3) 2021年度の変更点

実施体制における2021年度の変更はありません。

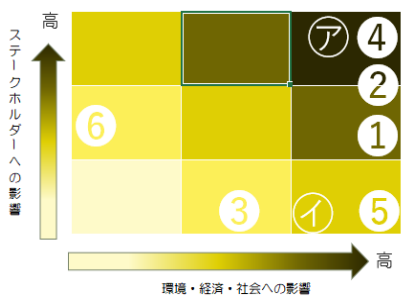
Do
実施

4) ガバナンス(課題とチャンス、マテリアリティ分析)

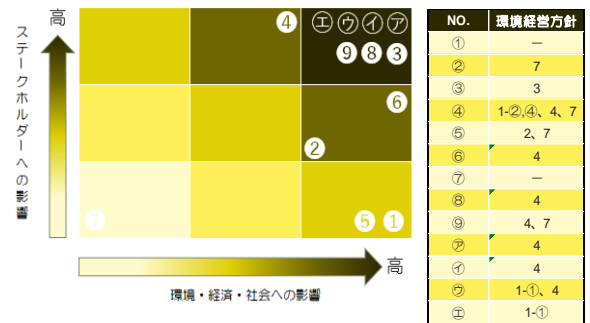
① 2021年度「課題とチャンス従業員アンケート」結果

| | 機会(チャンス) | 課題(リスク) |
|----|--|---|
| 内部 | ① 5S推進 ② コスト削減、節約 ③ デジタル化推進 ④ 人材育成 ⑤ 営業強化 ⑥ 環境分野での知名度活用 | ① 得意先が少ない ② 5S不十分 ③ 騒音を発生させる ④ コスト意識の薄れ ⑤ 生産能力の限界 ⑥ 火災 ⑦ 設備老朽化 ⑧ コンプライアンス意識の薄れ ⑨ 品質クレーム発生 |
| 外部 | ア SDGs イ 製造業の国内回帰 | ア 新型コロナ問題 イ 自然災害の脅威 ウ 豪雨災害の激甚化 エ 地球温暖化 |

② ①を踏まえたマテリアリティ分析結果



機会(チャンス)のマテリアル分析



課題(リスク)のマテリアル分析

コーポレートガバナンスへ当社の対応

コーポレートガバナンスとは？

「コーポレートガバナンス」。これを日本語に訳すと「企業の統治」。つまり、企業に所属する者自身が、間違いが起こることを防止するためのルールを作り、それを実行することで自らを監視するための取組のことをいいます。

当社の対応

当社のコーポレートガバナンスについて、実際に経営判断を行う経営者の死角を従業員がいかに補

うか、という観点で対応していこうと考えています。

具体的には毎年一回「課題とチャンス従業員アンケート」(上記①)を実施し、それを踏まえたマテリアリティ分析(上記②)により経営者が最終的に対応すべき課題、チャンスを決めます。①には、経営者の死角を補う意味合いがあります。

こうして抽出された課題とチャンスを経営方針に反映させることで、間違いのない環境経営に繋がられるように努めています。

5.PDCAで見る環境関連法規遵守の取組

1) 法規制遵守関連の環境経営計画と関連SDGs

| 取組内容 | SDGs | 実施責任者 |
|--|--|----------------------------|
| 事業活動内に該当する法令の改正状況を年1回調査し、改正あるものについては、法令ファイルの入替を行う。 |  | 石原 隆雅 |
| 工場稼働時の敷地境界における騒音の状況を確認し、記録する。 |   | 井出 学 ホアン バン ズン |
| 第一種特定製品(業務用エアコン等)の点検を行う。 |   | グエン ヴァン トゥアン グエン ミン キエン |
| 環境関連法規のための教育又は教育効果確認のためのテストとそのフォローを行う。 |   | 石原 隆雅 |
| 労働安全衛生に関する教育を実施する。 |     | 山崎 洋幸 |

2) 法規制遵守状況のチェック結果

廃棄物処理法の遵守状況

| 法令名 | 条・項 | 遵守事項 | 遵守状況 |
|---|---------------|---------------------------|------|
| 廃棄物処理法 | 第3条 | 排出者責任の原則 | 遵法 |
| | 第6条の2 第6項 | 事業者の一般廃棄物の処理 | |
| | 第12条 第2項 | 事業者の処理 (産業廃棄物 保管基準) | |
| | 第12条の3 第1項 | 産業廃棄物マニフェストの交付 | |
| | 第12条の3 第6項 | 産業廃棄物マニフェストの保存 | |
| | 第12条の3 第7項 | マニフェストに関する報告書の作成・報告義務 | |
| <p>委託業者の事業系一般廃棄物及び産業廃棄物許可証の写しを受領、確認済。</p> <p>産業廃棄物保管場所の掲示板を設置し、囲いを設けて保管。 保管場所は屋内、床面はコンクリートであり、飛散、流出、地下浸透、悪臭発散の恐れもない。 水銀使用製品産廃(蛍光灯)については保管場所に仕切りを設置。</p> <p>2021年度計4枚のマニフェスト交付事例あり。全て適正に記入され、保管もされている。また、これらの報告については、2022年4月5日、越谷環境管理事務所に送付。4月8日受付完了し、控えはファイルにて保管。</p> | | | |

リサイクル関連法の遵守状況

| 法令名 | 条・項 | 遵守事項 | 遵守状況 | |
|-----------|------|---------------|--|----|
| 自動車リサイクル法 | 第73条 | 再資源化預託金等の預託義務 | 2021年度は自動車リサイクル事案は発生していない。 2018年2月に社用車1台を更新時の処理が適正に行われたことを確認。 | 遵法 |
| 家電リサイクル法 | 第6条 | 事業者及び消費者の責務 | 2021年7月12日特定家電(テレビ4台)処分。 処分時にあってはリサイクル券を交付し適正に処分した。 | 遵法 |
| 資源有効利用促進法 | 第5条 | 消費者の責務 | 2021年度においてはパソコン処分事案は発生していないが、2013年2月の処分時においては適正に処分及び書類の保管を実施。 | 遵法 |

典型七公害関連法の遵守状況

| 法令名 | 条・項 | 遵守事項 | 遵守状況 | |
|-----------|--------|-----------|---|----|
| 騒音規制法 | 第5条 | 規制基準の遵守義務 | 毎月敷地境界4か所にて測定を実施。 問題がないことを確認。 | 遵法 |
| | 第6条 | 特定施設設置の届出 | 届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。 | |
| 振動規制法 | 第5条 | 規制基準の遵守義務 | 未測定(但し、近隣からの苦情は無く、届出時に八潮市役所による検査済)。 | 遵法 |
| | 第6条 | 特定施設設置の届出 | 届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。 | |
| 八潮市公害防止条例 | 第17条の1 | 特定工場設置の許可 | 届出済(平成22年5月7日許可番号0031号)。 | 遵法 |
| | 第18条の1 | 特定工場変更の許可 | 届出済(平成26年4月10日許可番号0030号)。 | |
| | 第20条 | 掲示板の設置 | 道路沿いの入口に設置されている(写真参照)。 | |
| 悪臭防止法 | 第7条 | 規制基準の遵守義務 | 臭気を感じることも無く、近隣からの苦情もないことから、当社により住民の生活環境が損なわれていないと判断できる。 | 遵法 |

5.PDCAで見る環境関連法規遵守の取組

その他の環境関連法の遵守状況

| 法令名 | 条・項 | 遵守事項 | 遵守状況 | |
|--------------------|-------------|--------------------------|---|----|
| 浄化槽法 | 第5条 | 設置等の届出 | 届出済。 | |
| | 第10条 | 保守点検及び浄化槽の清掃(浄化槽管理者の義務) | 分離ばっ気方式、処理対象21人以上(点検3月1回、清掃年1回義務)に対し 点検年4回 (3/5,6/4,9/6,12/6) 清掃年3回 (4/9,10/13,2022.1/26) 実施。問題無し。 | 遵法 |
| | 第11条 | 水質に関する検査(定期点検) | 2021年11月15日に実施 (判定：おおむね適正) | |
| 草加八潮消防組合 火災予防条例 | 第43条 | 防火対象物の使用開始の届出等 | 炭化水素貯蔵量980ℓのため、少量危険物取扱所に該当。 八潮市消防本部に届出済。 | 遵法 |
| 消防法 | 第13条 3項 | 危険物取扱者立会いの義務 | 2019年3月現在、危険物取扱者免状所持者4名。 今後、更に増員予定。 | 遵法 |
| | 第13条の23 | 保安に関する講習受講義務 | 2021年度該当者なし。 | |
| フロン排出抑制法 | 第16条 第1項 | 第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項 | 2021年5月11日、8月9日、11月5日、2022年2月7日に簡易点検実施。記録も保管されている。 | 遵法 |
| | 第41条 | 第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務 | 2021年度は業務用エアコン等の入替を実施していないため、同法の適用事例はないが、2011年度実施時に交付された「回収フロン破壊処理証明書」の保管は適正になされている。 | |
| 労働安全衛生法 | 第12条の2 | 安全衛生推進者等 | 2018年12月14日、係長 山崎 洋幸が安全衛生推進者養成講習を受講。同日修了。 | 遵法 |

企業間の取決めへの対応状況

| 法令名 | チェック結果 | 遵守状況 |
|---|--|------|
| 企業間の取決め (日本ケミコングリーン調達ガイドライン、ルビコン環境負荷物質一覧表) | 禁止物質不使用証明書を全サプライヤーから受領し、日本ケミコン株式会社様、ルビコン株式会社様へ提出済。 日本ケミコン株式会社様：グリーンサプライヤー認定更新済(有効期限2025年2月25日) ルビコン株式会社様：最新版の製品の含有に関する不使用保証書(RUB-42)を2022年2月14日に提出済。 | 遵法 |

3) 違反・訴訟の有無

環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、過去5年間にわたって、違反や訴訟も1件も発生しておりません。

4) 法規制の遵守状況の評価と次年度以降の取組内容

| 活動概要 | 関連SDGs | 評価点 | 寸評、次年度以降の取組内容 |
|----------------------|---|-----|---|
| 法規制改正状況の確認 |  | 10点 | 遵守状況チェックと同時に実施。 次年度も同タイミングで実施。 |
| 騒音測定 |   | 10点 | 規制基準ギリギリ(70db)の箇所があるものの規制値内。 次年度も測定を継続(但し審査による指摘を受け4回/年に変更)。 |
| 第一種特定製品(業務用エアコン)簡易点検 |   | 10点 | 計画通り年4回実施。 次年度も年4回実施。 |
| 法規制遵守のための教育 |   | 10点 | 計画通り年4回実施。 次年度は年5回+期末テスト(生物、法規制ミックスにて出題)の実施を計画。 |
| 労働安全衛生教育の実施 |     | 10点 | 計画通り年2回実施。 次年度も年2回の実施を計画。 |

5) 法規制遵守の取組に関する代表者の評価・指示

法規制遵守は環境活動の基本なので、このまましっかりと活動して欲しいと思う。

6.PDCAで見る緊急事態の想定とその対応策

1) **Plan** 想定される緊急事態

当社が2021年3月現在想定していた緊急事態は以下の3点です。

- (1) 潤滑油の漏洩
- (2) 地震の発生
- (3) 火災の発生
- (4) 洪水(気候変動適応策も踏まえた活動)

2021年度は、上記想定に基づき、下記3)の通りの訓練を実施しました。

なお、近年の気候変動の影響に伴い豪雨災害が激甚化していることから、2021年度よりその対応策として、洪水を新たに緊急事態に加えしました。

2) **Plan** 環境経営計画とSDGs

| NO. | 取組内容 | SDGs | 実施責任者 |
|-----|----------------------------------|---|-------------|
| ① | 火災、地震避難訓練の事前準備及び実施指揮と事後のフォローを行う。 | 4 質の高い教育をみんなに、11 持続可能な消費と生産 | 佐々木 勝 |
| ② | 製造現場の油漏出訓練の事前準備及び実施指揮と事後フォローを行う。 | 4 質の高い教育をみんなに、6 安全な水とトイレを世界中に、11 持続可能な消費と生産 | 加茂 隆弘 |
| ③ | 洪水発生時の被害軽減のための改善箇所を特定し、改善を指示する。 | 8 持続可能な成長をすべての人に、9 持続可能な産業と革新、11 持続可能な消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を | 有山 浩一郎 |
| ④ | 特定された改善箇所に関する改善を実施する。 | 8 持続可能な成長をすべての人に、9 持続可能な産業と革新、12 つくる責任、13 気候変動に具体的な対策を | 来 満 来 昌伸 |
| ⑤ | 洪水を想定した訓練の事前準備及び実施指揮と事後のフォローを行う。 | 4 質の高い教育をみんなに、8 持続可能な成長をすべての人に、9 持続可能な産業と革新、11 持続可能な消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を | 有山 浩一郎 |
| ⑥ | 火災、地震時の心構えに関する教育を実施する。 | 4 質の高い教育をみんなに、11 持続可能な消費と生産 | 佐々木 勝 |
| ⑦ | 災害用物資倉庫の管理を行う。 | 3 健全な気候を維持し、6 安全な水とトイレを世界中に、11 持続可能な消費と生産 | 佐々木 勝 |

3) **Do** 緊急事態の対応及び訓練状況

洪水を想定した訓練(土のう積み訓練)(2021年7月26日実施)

記念すべき第一回目の洪水を想定した訓練として土のう積み訓練を実施しました。

土のうの積み方の手順を確認できたことはもちろん、準備している土のうの量では足りないことも確認できました(不足分は市役所の無料配布にて2021年8月に補充しました)。

参加者からの感想

- 土のうの保管場所、積み方が理解できてよかった。
- 土のうの数が足りない。早急に整備すべき。



新入社員及び希望者対象の消火訓練(2021年10月14,15日実施(計2回))

コロナ禍、密回避が叫ばれる中ということもあり、今年度は4名の新入社員のみを対象とした消火訓練を実施することを計画し、10月14日に予定通り訓練を実施しました。

ところが訓練終了後、女性パート従業員8名から「今年も消火訓練を実施してほしい」との意見が上がり、その翌日に希望者対象の訓練を追加にて実施しました。



初日(左)と翌日の訓練(右)の様子

潤滑油の漏洩時訓練(2021年11月22日)

潤滑油の漏洩の原因となる箇所は様々ありますが、今年度は潤滑油を工場内に循環させるポンプ故障による漏洩を想定し、故障時の修理方法の訓練を行いました。

作業自体はそんなに難しくはないものの、手際よく行うのは想像以上に難しい！そんなことを肌で感じた訓練となりました。



担当者による説明(左)の後実演(右)

4) Check 確認 緊急事態の想定・訓練の評価と次年度以降の取組内容

| ※NO. | SDGs評価点 | 寸評、次年度以降の取組内容 |
|------|---------|--|
| ① | 10点 | 計画通り実施。しかしコロナ禍ということもあり全体訓練はできず。次年度は全体訓練を計画(しかし、コロナ次第……)。 |
| ② | 10点 | 計画通り実施。次年度も実地訓練を計画。 |
| ③ | 0点 | 計画するもそこまで進まず。次年度の計画は見送り。(まずは気候変動適応への理解を促すことが先決)。 |
| ④ | 0点 | ③同様計画止まり(社内理解が進まず)。次年度の計画は見送り。(まずは気候変動適応への理解を促すことが先決)。 |
| ⑤ | 10点 | 計画通り実施するも訓練の必要性に疑問を呈する声もちらほら……。次年度も計画し、早期に気候変動適応策への社内理解を深めていく。 |
| ⑥ | 10点 | 年2回計画、計画通り実施。次年度も年2回の実施を計画。 |
| ⑦ | 10点 | 4月に在庫及び賞味期限の確認を実施。新たな補充は実施せず。次年度も同様の確認を実施(2022年5月実施予定)。 |

※NO.①～⑦は前頁(23頁)の①～⑦に対応しています。

5) Act 見直し 緊急事態の想定・訓練に関する代表者の評価・指示

会社の仕事上、一番発生が危ぶまれるのは潤滑油の漏洩事故です。この訓練はしっかりやってほしいと思います。

7.数字で見る2021年度環境負荷の全体像

1) 過去5年間の環境負荷の実績

| 項目(単位) | | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|---------------------|--|---------|---------|---------|---------|---------|
| CO ₂ 排出量 | CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)※ ₁ | 299,131 | 225,161 | 9,856 | 8,585 | 11,390 |
| | 電力(kWh) | 623,392 | 700,395 | 667,351 | 513,107 | 525,194 |
| | 灯油(ℓ) | 1,641 | 2,030 | 1,815 | 1,488 | 2,066 |
| | LPG(kg) | 506 | 501 | 483 | 396 | 454 |
| | ガソリン(ℓ) | 2,574 | 2,338 | 1,435 | 1,360 | 1,437 |
| 廃棄物 | 事業系一般廃棄物(kg) | 1,285 | 1,084 | 18,338 | 1,058 | 1,067 |
| | 産廃(廃ウエス)(kg) | 9,030 | 1,800 | 2,000 | 2,000 | 1,400 |
| | 紙くず(リサイクル量)(kg) | 2,270 | 2,270 | 2,920 | 1,930 | 1,960 |
| | 廃アルミ(有価物)(kg)※ ₂ | 279,020 | 313,520 | 311,780 | 229,080 | 234,250 |
| 水 | 上水(m ³) | 418 | 416 | 437 | 374 | 371 |
| 化学物質 | 炭化水素(ℓ)※ ₃ | 16,400 | 21,600 | 21,400 | 14,000 | 13,000 |
| | 潤滑油(ℓ)※ ₄ | 35,000 | 34,000 | 28,000 | 20,000 | 22,000 |
| グリーン調達率(%) | | 71.79 | 81.49 | 84.44 | 74.69 | 71.98 |

2008年度東京電力(株)の実排出係数(0.418kg-CO₂)を基に算出しています(2016年度まで)。

※₁ 二酸化炭素排出量 2017年度については、平成28年度日本テクノ(株)の調整後排出係数(0.447kg-CO₂、2017年10月まで)とプレミアムグリーンパワーの平成28年度調整後排出係数(0.000kg-CO₂、2017年11月以降)を基に算出しています。

※₂ 廃アルミ(有価物)は、環境経営目標「不良品の発生削減による材料歩留まりの向上」の評価項目になります。

※₃ 炭化水素の物品名は「ソルトワンプ-1」(第2石油類 非水溶性)になります。

※₄ 潤滑油の物品名は「ラタックコンパウンド」(第4石油類)になります。

項目毎の基準年度は、2)環境目標の達成状況を御参照下さい。

2) 2021年度の実績と目標達成状況

二酸化炭素排出量に関するもの

| 項目 | 単位 | 基準年度 | 目標値 | 実績値 | 達成状況 |
|----------|-----------------------------------|--------|----------|----------|------|
| 二酸化炭素排出量 | 総量(kg-CO ₂) | 2013年度 | 216,034 | 9,507 | 達成 |
| 電力使用量 | ※ ₁ 洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋) | 2015年度 | 19.79 | 16.55 | 達成 |
| 灯油使用量 | 稼働日原単位(ℓ/稼働日数) | 2010年度 | 5.81 | 7.49 | 未達 |
| LPG使用量 | 稼働日原単位(kg/稼働日数) | 2010年度 | 2.68 | 2.03 | 達成 |
| ガソリン使用量 | 総量(ℓ) | 2018年度 | 1,406.46 | 1,559.35 | 未達 |

廃棄物排出量に関するもの

| 項目 | 基準年度 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成状況 |
|-----------|--------|-------------------------------------|--------|--------|------|
| 事業系一般廃棄物 | 2014年度 | 総量(kg) | 1,740 | 3,296 | 未達 |
| 産廃(廃ウエス) | 2017年度 | 総量(kg) | 1,764 | 1,600 | 達成 |
| 紙くずリサイクル率 | 2010年度 | ※ ₂ 紙くず(kg)/ゴミ総量(kg)×100 | 35.64% | 34.25% | 未達 |
| 廃アルミ(有価物) | 2010年度 | ※ ₁ 洗浄袋数(調整)原単位(kg/袋) | 8.74 | 7.66 | 達成 |

水使用量

| 項目 | 基準年度 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成状況 |
|----|--------|----------------------------------|-------|-------|------|
| 水 | 2015年度 | 稼働時間原単位(m ³ /稼働時間(h)) | 0.206 | 0.215 | 未達 |

化学物質使用量に関するもの

| 項目 | 基準年度 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成状況 |
|-----------|--------|--------------------|-------|------|------|
| 炭化水素 | 2017年度 | 洗浄袋数原単位(ℓ/袋) | 0.579 | 0.45 | 達成 |
| 潤滑油(ラタック) | 2010年度 | ※1洗浄袋数(調整)原単位(ℓ/袋) | 0.83 | 0.71 | 達成 |

グリーン調達

| 項目 | 基準年度 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成状況 |
|--------|------|------------|-----|--------|------|
| グリーン調達 | 現状把握 | グリーン調達率(%) | - | 77.74% | - |

※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法(電力、潤滑油(ラタック)の原単位算出に使用)

- 手順1. 当月洗浄袋(ロット)数÷当月製造数=製品1個あたり袋数を計算する -①
- 手順2. 調整(1)の値を計算する 調整(1) = ① ÷ (基準年洗浄袋(ロット)数 ÷ 基準年製造数) -②
- 手順3. 調整(2)の値を計算する 調整(2) = {1- (②-1)} × 当月使用量 -③
- 手順4. 調整後原単位を計算する 調整後原単位 = ③ ÷ 当月製造数

※2ごみ総量(kg)：事業系一般廃棄物(2021年度：3,296kg)、産廃(廃ウエス)(2021年度：1,600kg)、紙くず(2021年度：2,550kg)の合計量となります。

表中赤太字の項目は、目標値未達の項目を表します。

3) Check 2021年度マテリアルバランス

| インプット | 上:使用(排出)量 下:費用 | プロセス | アウトプット | 上:処分(売却)量 下:費用 黒:収入 赤:支出 |
|-------|----------------------------------|-------|-----------------|----------------------------------|
| アルミ材料 | 682,809kg 486,556千円 | 原材料調達 | 製品 | 402,859kg 705,824千円 |
| 電力 | 625,026kWh 12,820千円 | 製造 | アルミスクラップ | 279,950kg 68,222千円 |
| 灯油 | 1,783ℓ 149千円 | | CO ₂ | 9,508kg-CO ₂ — 千円 |
| LPG | 483.27kg 157千円 | | 事業系一般廃棄物 | 3,296kg 165千円 |
| ガソリン | 1,559.35ℓ 243千円 | | 産廃(廃ウエス) | 1,600kg 106千円 |
| 炭化水素 | 15,400ℓ 4,519千円 | | 紙くず | 2,550kg 0.00千円 |
| 潤滑油 | 27,000ℓ 8,993千円 | | 排水 (浄化槽維持費用) | 451m ³ 85千円 |
| 上水 | 451m ³ 97千円 | | 販売 | 樹脂パレット・樹脂製廃通函 |

8.PDCAで見る2021年度環境活動

二酸化炭素排出量（目標値：総量（kg-CO₂）

Plan 中長期環境経営目標

（単位：kg-CO₂）

| 年度 | 目標値 | 基準年度比 |
|------|---------|---------|
| 2021 | 216,034 | 33.8%削減 |
| 2022 | 210,160 | 35.6%削減 |
| 2023 | 204,287 | 37.4%削減 |
| 2024 | 198,413 | 39.2%削減 |
| 2025 | 192,539 | 41.0%削減 |
| 2030 | 163,169 | 50.0%削減 |

| 基準年度 | 2013年度 |
|---------|---------------------------|
| ※基準年度実績 | 326,337kg-CO ₂ |

※CO₂排出量の基準年度と長期目標設定について

2015年12月「パリ協定」の採択を受け、当社ではこの目標になぞらえる形で長期目標のゴールを2030年度とし、国の削減目標よりも遥かにチャレンジングな「50%削減」を目標とし、取組を進めてきました。

しかし、カーボンニュートラルが強力に推進されつつある昨今にあって、これではその流れに追従できず、リードすることは不可能な状況です。

そこで2021年度は、経営者や専門家との議論を重ねつつ、カーボンニュートラルをも視野に入れた新たな削減目標策定のための準備の年とすることとしました。

中長期環境経営目標達成のために

昨年4月に地球温暖化推進法に基づく政府の総合計画として「我が国の中期目標として、2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す。さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく」という表明がありました。それ以降の世間の脱炭素化(カーボンニュートラル)への関心たるや、昨年環境界の枠を大きく超えて大ブレイクしたSDGsを遥かに凌ぐものと、個人的には感じています。

それを受け、国や自治体が脱炭素化を強力に推し進めるための施策を打ってくるのが考えられますので、こうした機会があれば有効に活用していかなければなりません。

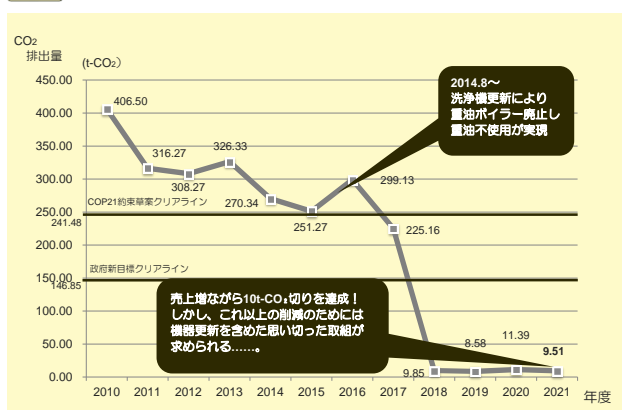
脱炭素化推進のためには、説得力のある情報が必要不可欠。自身の知識のブラッシュアップと専門家の知見のフル活用によって、社内におけるより一層の脱炭素化を推進していけるよう、全力で取り組んでいきます。

Do 環境経営計画と具体的取組

当社における二酸化炭素の具体的な排出源は、エネルギー(電力、灯油、LPG、ガソリン)の4項目)使用に伴うものとなります。

それぞれの具体的な取組・結果及び分析については、後の頁にて詳述しますので、御確認下さい。

Check 二酸化炭素排出量の推移と2021年度の実績



2021年度は、9.51t-CO₂と2年ぶりに一桁台を回復。灯油暖房を多用する冬と受注の底が重なり、冬の稼働時間が少なくなったことが最も大きく影響したものと考えられます。

更に一層の削減を目指すには、残る灯油、ガソリン、LPG使用機器の見直しに踏み込む必要があり、そこは私ではいかんせん力不足…。専門家をフル活用し、社内の大きな山を動かしたいと思います(脱炭素化の取組については、後のトピックスにて詳述しますので、そちらも是非ご覧ください)。

Act 二酸化炭素排出量削減に関する代表者の評価・指示

灯油(2階の暖房)、ガソリン(社用車2台)、LPG(厨房、手洗い、フォークリフト)を一気に電気に替えるのは難しいと思う。



レポートを読み解くためのキーワード 当社独自の評価基準「SDGs評価点」とは？

SDGsで環境経営を総点検

当社環境経営レポートでは、2018年版より、「取組状況の確認及び評価(Check)」の手法として「SDGs評価点」なるものを採用しています。

これは、SDGsの観点から当社の環境経営に関する取組状況を点数化することと、当社の取組がSDGsをどれだけ満たすものとなっているのか、数値的に可視化することを狙い、設定したものです。

年間の環境活動の状況をいざ評価しようにも、数字で表せる使用(排出)量ならまだしも、教育・訓練や削減に繋がる活動の実施状況などについては、評価が難しいというのが、従来の悩みでした。

そこで、環境経営計画策定時に全ての計画をSDGsと紐付けし、年度終了時に独自基準に基づきすべての計画を点数化。そうすることで、今までどうしても表現が難しかった数字に表せない活動の取組状況を数字で表現したり、年度毎の比較をすることまで可能となりました。また、SDGsに紐付けした結果をグラフ化することで、現在の活動がSDGsをどれだけ満足する活動となっているのか、欠けている部分はどこなのかというところまで、「見える化」できてしまう。いいことづくめの評価方法ではないのかな?と考案者として自画自賛している次第です。

このようにいいことづくめ(?)の「SDGs評価点」。これが今後世の中に広まるかどうかはひとまず置いておいて、その評価基準は、次の通りです。

「SDGs評価点」評価基準

環境関連法規(19～22頁)

10点満点。遵守事項各項目につき遵守されていないものがあつた場合、1項目ごとに△1点。

また、毎月確認が必要な項目については、年間完全達成で満点、達成できない月があれば1点減点とする。

緊急事態の想定とその対応策(23、24頁)

10点満点。2020年度年初に予定した訓練3項目(避難訓練、油漏出訓練、八潮市消火訓練)について、実施した場合は10点、未実施の場合は理由の如何を問わず0点とする。

項目毎の取組(数値目標)(29～40頁)

目標達成率を点数とする(但し、100%以上10点(満点)、小数点以下切捨て)。

項目毎の取組(教育訓練)(19～42頁)

各教育訓練項目それぞれ10点満点。実施回数にて採点し、計画通り実施の場合は満点(10点)、未実施の場合は、未実施1回毎の減点=10÷実施予定回数(小数点以下切上げ)に基づき減点する。

項目毎の取組(数値以外の目標)(19～40頁)

実施の場合は満点(10点)、未実施の場合は理由の如何を問わず0点とする。

補足

1つの環境活動計画につき2つ以上のSDGsが並存しているものについては、どちらも同じ点数であるものとして評価する。

当社環境経営の気になる最新情報は
「来ハトメ環境・CSRチャンネル」で
今すぐチェック!!



Youtube「来ハトメ工業環境・CSRチャンネル」QRコード

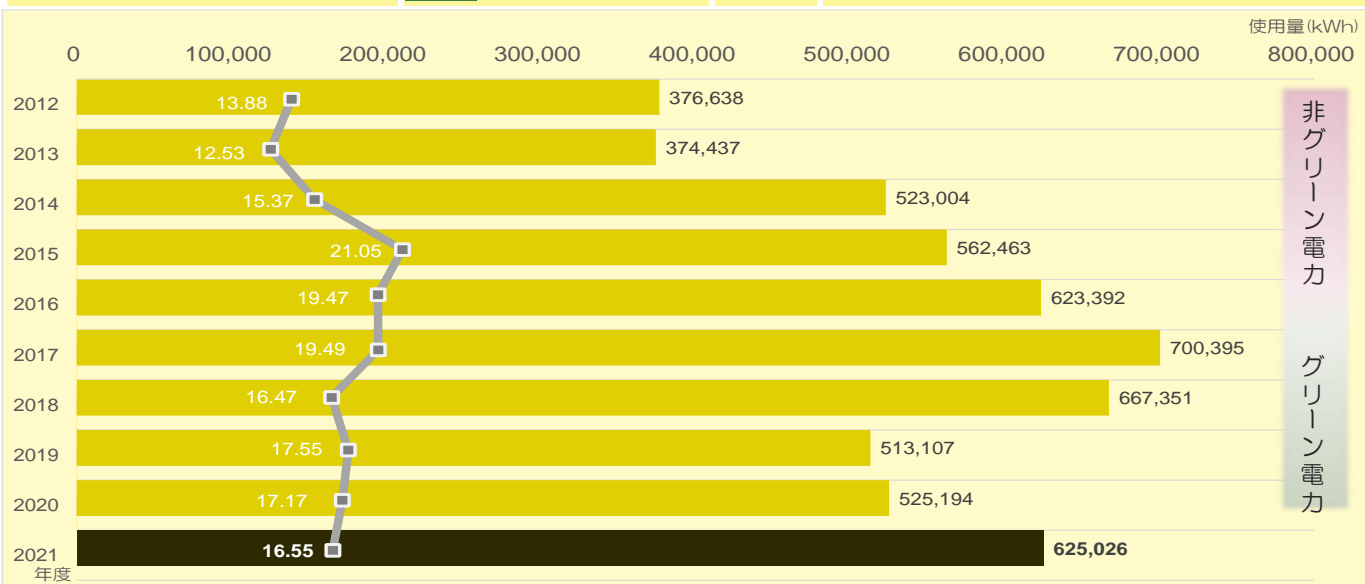
8.PDCAで見る2021年度環境活動

電力使用量(目標値：洗浄袋数(調整)原単位(kWh/袋))

Plan 計画 Do 実施 Check 確認 中期環境経営目標・2021年度環境経営計画及び実施状況

| 基準年度 | 2015年度 | 中期環境経営目標 | | | | | |
|------|---------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 年度 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 |
| 基準年度 | 21.05 | 目標値 | 19.79 | 19.57 | 19.37 | 19.16 | 18.95 |
| 実績 | kWh/調整袋 | 基準年度比 | 6%削減 | 7%削減 | 8%削減 | 9%削減 | 10%削減 |

| 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
|------------------------------------|--|-----|--|
| 使用量記録・月毎の見直し (田辺 栄一) | 12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を | 10点 | 原単位目標達成率119.59% 次年度は基準年△7%を目標とする。 |
| 朝礼時の電力啓発 (田辺 栄一) | 4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動に具体的な対策を | 10点 | 計画通り実施するも教育と被る。 次年度は一本化する。 |
| 電力関連の教育実施 (田辺 栄一) | 4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動に具体的な対策を | 5点 | 計画8回、実施4回 次年度は年3回の実施を計画。 |
| 設備の情報収集・提案等 (田辺 栄一) | 7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を | 10点 | 環境省事業、展示会により実施。 次年度も継続。 |
| デマンド管理(目標290kW) (田辺 栄一) | 13 気候変動に具体的な対策を | 10点 | 289kW(目標達成だが昨年比+11kW)。 次年度目標値290kW。 |
| デマンド抑制策検討 (来 満) | 13 気候変動に具体的な対策を | 10点 | 昼時間帯の生産調整等を実施。 次年度も状況により実施。 |
| 電力事業者比較・検討 (田辺 栄一) | 8 質の高いエネルギー供給 12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を | 10点 | 長期契約締結のため実施せず。 次年度も実施を計画。 |
| 温・湿度の記録 (田辺 栄一・斉藤 進・安田・ジョセフィーナ) | 13 気候変動に具体的な対策を | 10点 | 全エリア毎日記録。 次年度も継続実施。 |



原単位目標は達成しましたが、稼働が好調だった影響もあり使用量は約19.0%増加となりました。次年度以降は今年度実施の対策(38頁参照)の効果による減少に大きな期待ができます。

原単位算出式：※基準年度の洗浄袋数を基に調整した電力使用量(kWh)÷洗浄袋数(袋)
※原単位計算方法については26頁「※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法」をご覧ください。

Act 見直し 電力使用量削減に関する代表者の評価・指示

電力使用量の増減比較を基準年の原単位を当月製造数で調整した原単位で行う方法は、弊社の様な1袋を1ロットとする会社にとっては、適した方法だと思う。

その他のエネルギー使用量(目標値：各グラフ上部に記載)

Plan Do Check 中期環境経営目標・2021年度環境経営計画及び実施状況

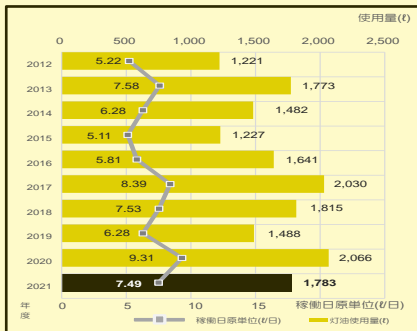
| 灯油 | 基準年度 | 2010年度 | 中期環境経営目標 | | | | |
|-------------------------|---------------------------|----------|--------------------------------|-----------|--------|--------|--------|
| | 基準年実績 | 6.18 ℓ/日 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| | 目標値 | 5.81 | 5.75 | 5.69 | 5.62 | 5.56 | |
| 基準年度比 | 6%削減 | 7%削減 | 8%削減 | 9%削減 | 10%削減 | | |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | | |
| 使用量記録・月毎の見直し (三輪 千鶴) | 12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応 | 7点 | 原単位目標達成率77.5% 未達につき次年度目標据置。 | | | | |
| 出力抑制、ウォームピズ (全従業員) | 13 気候変動への対応 | 10点 | 計画通り実施。 次年度も継続。 | | | | |
| フィルター、熱交換器清掃 (石原 隆雅) | 7 再生可能エネルギー、13 気候変動への対応 | 10点 | 計画通り実施。 機器更新無ければ次年度も継続。 | | | | |

| LPG | 基準年度 | 2010年度 | 中期環境経営目標 | | | | |
|----------------------------------|---------------------------|-----------|---------------------------------------|-----------|--------|--------|--------|
| | 基準年実績 | 3.01 kg/日 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| | 目標値 | 2.68 | 2.65 | 2.62 | 2.59 | 2.56 | |
| 基準年度比 | 11%削減 | 12%削減 | 13%削減 | 14%削減 | 15%削減 | | |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | | |
| 使用量記録・月毎の見直し (グエン ヴァン トゥアン) | 12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応 | 10点 | 原単位目標達成率132.02% 次年度は基準年△12%を目標とする。 | | | | |
| 夏(冬)期の使用ルール啓発・ (グエン ヴァン トゥアン) | 4 質の高い教育をみんなに、13 気候変動への対応 | 10点 | 計画通り実施。 来年も継続。 | | | | |

| ガソリン | 基準年度 | 2018年度 | 中期環境経営目標 | | | | |
|------------------------|--|-----------|---------------------------------------|-----------|----------|----------|--------|
| | 基準年実績 | 117.2 ℓ/月 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| | 目標値 | 1,406.45 | 1,392.11 | 1,377.75 | 1,363.40 | 1,349.05 | |
| 基準年度比 | 2%削減 | 3%削減 | 4%削減 | 5%削減 | 6%削減 | | |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | | |
| 使用量記録・月毎の見直し (来 尊重) | 12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応 | 9点 | 原単位目標達成率90.2% 未達のため次年度目標は据置。 | | | | |
| エコドライブ教育の実施 (来 尊重) | 3 健康な生活とウェルビーイング、4 質の高い教育をみんなに、7 再生可能エネルギー、13 気候変動への対応 | 10点 | 計画4回、実施4回(計画通り実施)。 次年度も4回/年の実施を計画。 | | | | |

灯油使用量

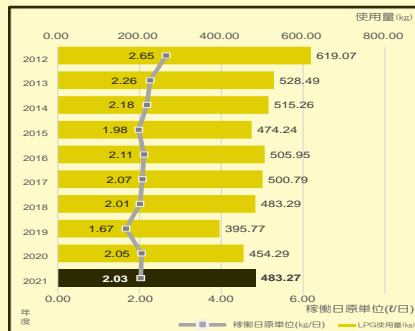
目標値：稼働日原単位(ℓ/日)



冬場の稼働減の影響もあり前年度比13.6%減。当社CO₂排出量の約半分を占める部分で、電気への切替が喫緊の課題と言えます。

LPG使用量

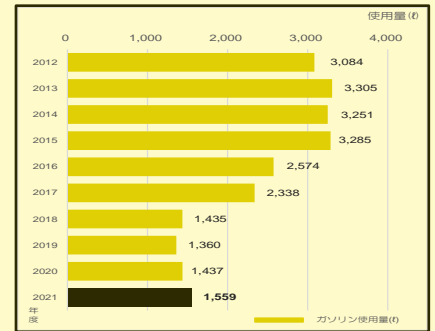
目標値：稼働日原単位(ℓ/日)



原単位目標は達成ながら、使用量は昨対比6.3%増。従業員数、フォークリフト使用頻度の増加の影響が大きいものと考えます。

ガソリン使用量

目標値：総量(ℓ)



使用量8.4%増、しかも近年増加傾向。冬場の燃費効率が悪いハイブリッド車の特性が大きく影響しているようです。

Act 見直し その他のエネルギー使用量削減に関する代表者の評価・指示

二酸化炭素排出量のところでも述べたが、灯油(2階の暖房)、LPG(厨房、トイレ、フォークリフト)ガソリン(社用車2台)を一気に電気に替えるのは、難しいと思う。

8.PDCAで見る2021年度環境活動

来ハトメ環境トピックス2021

③ かくして当社は二酸化炭素排出量を削減した ～過去のターニングポイントと2021年度の取組(1)～

2021年度は「脱炭素の年」

2020年10月26日の菅総理大臣所信表明演説における「2050年カーボンニュートラル」宣言、その翌年4月の気候サミットにおける「2030年度に、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す。さらに、50%の高みに向けて、挑戦を続けていく」という約束草案修正の表明があって以降、「脱炭素(カーボンニュートラル)」というワードを耳にする機会が一気に増えてきたように感じています。

そんな世の中の変化を受けてか、環境仲間、得意先といった身近なところから、土業の方、果ては省庁といった我々にとって雲の上の存在とも言うべき方に至るまで、様々なところから当社の脱炭素への取組に関するお話を多数頂戴し、2021年度はまさに「脱炭素一色の年」でした。

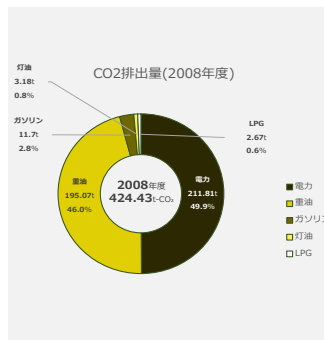
このレポートはこんな2021年度の総括のレポートですから、脱炭素関連の取組について、詳しく御紹介しないわけにはいきません。

ここでは、当社が今までどのような経緯をたどり二酸化炭素を削減し、現在地にたどり着いたか、そして、そこからカーボンニュートラルを目指すために、今何をしているのかについて、ちょっとだけ細かく御紹介させて頂こうと思います。

転換点で振り返る当社脱炭素への道のり

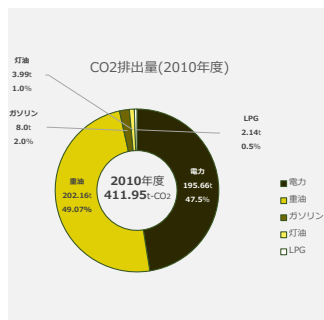
I.取組前夜(2008年度)

こちらが当社がまだ環境への取組を始める前のCO₂排出量のグラフ。当時の環境活動は…、たまに幹部から吐かれる「もったいないだろ!」という恫喝のみ、でした……。



II.EA21認証取得(2010年度)

ノックアウト寸前に追い込まれながら、やっとの思いで取得したエコアクション21認証。認証取得年度のグラフは右の通り。まだこの段階では、認証取得しただけなので、大きな変化はありません。

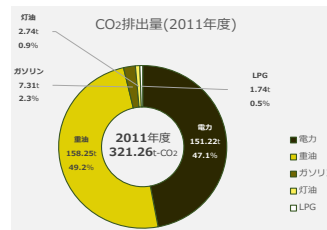


Ⅲ.東日本大震災が第一の転機に(2011年)

そんな超環境劣等企業の当社が大きく変わる契機となったのは、3.11(東日本大震災)。

メディアでは連日最大需要電力(デマンド)抑制が叫ばれ、当社もそれに注目。水銀灯をLED照明に更新し、機器更新の力で難局打開を目指しました。

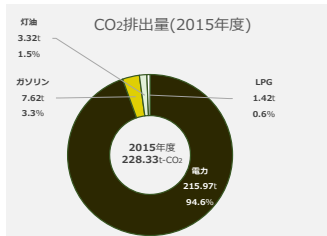
そんな2011年度の結果は右の通り。約90tもの大幅削減に成功し、機器更新の力を思い知らされることとなりました。



Ⅳ.第二の転機となった洗浄機更新(2014年)

デマンド重視という多少の知恵と、業績の悪さも手伝って、2012,13年度は二酸化炭素排出量的には概ね順調に推移していました。しかし、デマンドを重視するあまり、特に夏場のエアコンで帳尻を合わせるなど、従業員に無理を強いることも。あくまで限定的な効果を求めるあまり社内の雰囲気が悪化。そんな危うい削減活動を続けた2年間でした。

こうした流れを一気に変えたのが2014年4月に実施した洗浄機の更新。洗浄機の熱源を電気ヒーター(従来機は重油ボイラー)タイプに変えたことでCO₂排出量



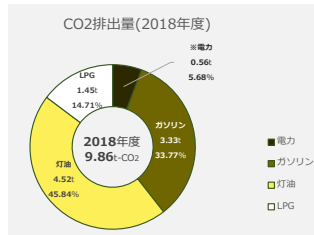
は格段に減少。2014年にしてパリ協定の2030年約束草案ライン(2013年度比△26%)を達成。脱炭素化への意欲を高めるきっかけとなりました。

V.グリーン電力への切替(2017年)

脱炭素にハマりはしたものの洗浄機以降は見事にネタ切れ!そんな閉塞感を一気に吹き飛ばしたのが、グリーン電力への切替でした。

何気なく電気事業者毎の二酸化炭素排出係数一覧表を眺めているときに、CO₂排出係数0の電力が存在することを発見。すぐに調査をはじめ、その内の1社を選定。すぐに経営者への了解を取

り付けるための準備を行い(切り替えのための口説き文句は「電気料金が安くなる」でした。当時はグリーン電力、非グリーン電力よりも安かったのです)。



2017年11月に念願のグリーン電力調達スタート！CO₂排出量が年間10t弱の水準に到達し、「次はいかにしてカーボンニュートラルまでもっていくか考えよう!」と思っていた矢先、事件は起きたのです……。

VI.電力事業者からの誘惑(2018年)

「10t-CO₂/年前後はほぼ確実、次はどこを減らそうか……」と、能天気と考えていた2018年の年の瀬、そんな状況を一変させる大事件が起きました。そのきっかけは、当社が再エネを調達している事業者からの1通の案内状。これによると「新たに価格のメリットが高い非再エネ電力も取り扱うことになった。については来年4月以降はどちらの電力を購入するかを決定の上、連絡してほしい」というもの。

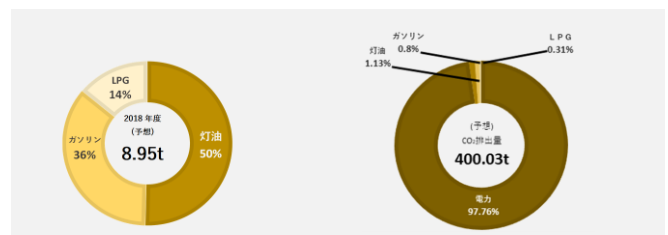
折しも、米中貿易戦争の真っ最中。その波に飲み込まれ、受注が落ち込もうとしていた時期にあつての、千載一遇のコストダウンの大チャンス。まさに渡りに船とばかりに、経営者も非再エネ電力の方になびいてしまいそうな状況……。ゆえに正月休み前に何度か社長に説得を試みるもその結果は不調……。かくなる上は再エネ死守のために正月休み中に知恵を絞りつくすしかない!!

図らずも私にとっての2018~19年の正月休みは、そんな地獄のような1週間になってしまったことは、言うまでもありません……。

VII.一発大逆転の提案書(2019年)

絶体絶命、ほぼ敗戦が決定な状況……。この状況を打開し、コスト的に不利な再エネ購入の方向に引き戻すためには、相当強いインパクトを与え、説得することが必要。業界動向、TCFD……、何をもって説得するのが経営者を説得する最善策かに頭を巡らせ、最終的にこうした小難しいことは全部抜きにしてド直球で勝負することに。

その方法とは、「円グラフによる各パターンの可視化」。「プラン変更により年間約80万円の電力使用量を削減した代償として、前年より約390tも多くのCO₂を排出してしまうという事態が待って



2018年度予想CO₂排出量(左)と電力プラン変更時の予想CO₂排出量(右)「電力プラン変更時におけるCO₂排出量試算と提案」(当社資料)より

いる」という一文に資料に右上の円グラフを添付。さすがにこれには社長も衝撃を受けたようで、「今の40倍の二酸化炭素を出しながら仕事を続けるというのは、これだけ環境のイメージが強くなったうちには、ちょっとできないよね……」という言葉を引き出し、見事一発逆転！グリーン電力死守に成功したのでした。グリーン電力頼みのCO₂削減は方法としては大変楽で効果絶大。しかし一方では非再エネとの価格差や供給事業者の方針転換とも常に隣り合わせ。この二度と味わいたくない事態を教訓に、起こり得るリスク整理の必要性を強く感じた2019年のスタートとなりました。

VIII.シナリオ分析で方向性整理(2020年)

2020年、環境報告の一層の充実を図るために、エコアクション21認証事業者としては異例とも言えるべき「エコアクション21ガイドライン2017年版」と「環境報告ガイドライン2018年版」という両ガイドライン準拠の環境経営レポートの作成を計画。その目玉として選んだのが「シナリオ分析」でした。

まず、当社の2030年度を予測し、その際のエネルギー使用状況の「ベストシナリオ」と「ワーストシナリオ」をそれぞれ予測。その結果は下の表の通り、結構衝撃的なものでした……。

| エネルギー | 2030年使用(排出)量 | | | |
|----------------------------|--------------|---|----------|---|
| | ベストシナリオ | | ワーストシナリオ | |
| | 使用量 | CO ₂ 排出量(kg-CO ₂ e) | 使用量 | CO ₂ 排出量(kg-CO ₂ e) |
| 電力(kWh) | 753,401 | 0 | 753,401 | 348,071 |
| 灯油(ℓ) | 0 | 0 | 2,030 | 5,054 |
| LPG(kg) | 50 | 150 | 511 | 1,532 |
| ガソリン(ℓ) | 1,371.86 | 3,185 | 1,371.86 | 3,185 |
| 合計CO₂排出量 | | 3,335 | | 357,842 |

この結果を受け、現在の教育を充実させ、未来のトップ(すなわち当社の現在の従業員)の思想を確かなものとしなければならない、どんな雑音も跳ね返すべく、責任者は学び続けなければならない、という結論を得るに至り、2021年度はまさにその「スタートラインに立った年」となりました(38頁へ続く)。

8.PDCAで見る2021年度環境活動

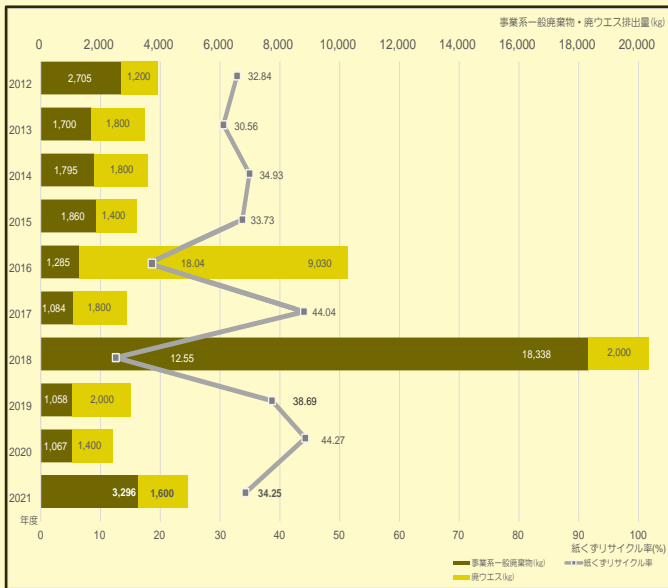
廃棄物排出量(目標値：各グラフ上部に記載)

Plan Do Check 中期環境経営目標・2021年度環境経営計画及び実施状況

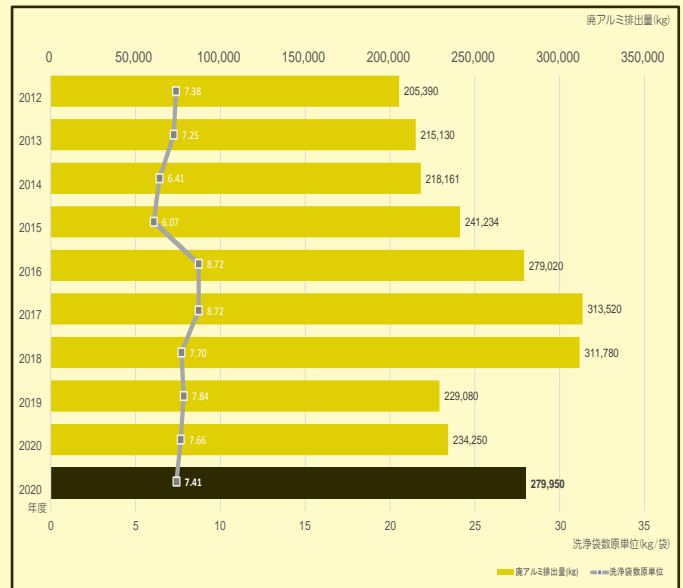
| 事業系 | 一般廃棄物 | 基準年度 | 2014年度 | 中期環境経営目標 | | | | |
|------|--------|-----------------------------------|------------|----------|--|--------|--------|--------|
| | | 基準年実績 | 1,795 kg | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| | | 目標値 | 1,687 | 1,669 | 1,651 | 1,633 | 1,616 | |
| | | 基準年度比 | 6%削減 | 7%削減 | 8%削減 | 9%削減 | 10%削減 | |
| | | 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | | |
| | | 排出量記録・月毎の見直し (加茂 隆弘) | | 5点 | 目標達成率52.79%(不用品回収実施のため)未達理由明確、次年度目標は基準年△7% | | | |
| | | ウエスリユース(モップとして) (加茂 隆弘) | | 10点 | 毎月徹底して実施。次年度も継続。 | | | |
| | | 分別不徹底事例の注意喚起 (加茂 隆弘) | | 10点 | 計画通り実施。次年度は代わりにゴミ箱点検を実施。 | | | |
| | | 廃棄物に関する教育(年2回) (加茂 隆弘) | | 10点 | 計画通り実施。次年度も年2回の実施を計画。 | | | |
| 産廃 | (廃ウエス) | 基準年度 | 2017年度 | 中期環境経営目標 | | | | |
| | | 基準年実績 | 1,800 kg/日 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| | | 目標値 | 1,764 | 1,746 | 1,728 | 1,710 | 1,692 | |
| | | 基準年度比 | 2%削減 | 3%削減 | 4%削減 | 5%削減 | 6%削減 | |
| | | 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | | |
| | | 排出量記録・月毎の見直し (井出 学) | | 10点 | 総量目標達成率110.25% 次年度は基準年△3%を目標とする。 | | | |
| | | 「見える化」ボード定期更新及び朝礼における啓発 (井出 学) | | 10点 | 適宜確実に実施。次年度も継続。 | | | |
| | | 分別の確認及び注意喚起 (井出 学) | | 10点 | 計画通り実施。来年も継続。 | | | |
| 紙くず | (有価物) | 基準年度 | 2010年度 | 中期環境経営目標 | | | | |
| | | 基準年実績 | 25.64 % | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| | | 目標値 | 35.64 | 36.64 | 37.64 | 38.64 | 39.64 | |
| | | 基準年度比 | 10%削減 | 11%削減 | 12%削減 | 13%削減 | 14%削減 | |
| | | 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | | |
| | | リサイクル量記録・見直し (有山 浩一郎) | | 9点 | 原単位目標達成率96.09% 未達理由明確。次年度目標更に1%向上 | | | |
| | | 紙類の分別の徹底 (全従業員) | | 10点 | 全従業員で徹底して実施。次年度も継続。 | | | |
| 廃アルミ | (有価物) | 基準年度 | 2010年度 | 中期環境経営目標 | | | | |
| | | 基準年実績 | 9.71 g/調整袋 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| | | 目標値 | 8.64 | 8.54 | 8.45 | 8.35 | 8.25 | |
| | | 基準年度比 | 11%削減 | 12%削減 | 13%削減 | 14%削減 | 15%削減 | |
| | | 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | | |
| | | 排出量記録・月毎の見直し (加藤 直) | | 10点 | 調整原単位目標達成率116.56% 次年度目標は更に△1%削減。 | | | |
| | | 廃アルミ価格の調査 (加藤 直) | | 10点 | 計画通り実施。次年度も継続。 | | | |
| | | 製品L寸法確認の徹底 (プレスオペレーター) | | 4点 | 確認不備6件/年(前年度9件/年)。次年度目標0件。 | | | |
| | | 材料台管理(グリース交換) (加藤 直) | | 10点 | 計画通り実施。次年度も継続 | | | |

| 材料歩留率の | 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
|--------|--------------------------|---|-----|--------------------------|
| | 廃アルミ価格の「見える化」 (加藤 直) | 4 質の高い教育をみんなに 12 つぶやみ持続可能な消費と生産 | 10点 | 計画通り実施し毎週掲示。 次年度も継続。 |
| | 缶開けルールの啓発 (加藤 直) | 4 質の高い教育をみんなに 9 産業と地域コミュニティの持続可能な発展を促す | 10点 | 計画通り実施。 次年度も継続。 |
| | 材料つなぎ教育の(年12回) (井出 学) | 4 質の高い教育をみんなに 9 産業と地域コミュニティの持続可能な発展を促す | 10点 | 計画通り実施。 次年度12回の実施を計画。 |
| | 不良率の「見える化」 (井出 学) | 9 産業と地域コミュニティの持続可能な発展を促す | 10点 | 計画通り実施。 次年度も継続。 |

事業系一般廃棄物排出量(kg)
産廃(廃ウエス)排出量(kg) の推移
※紙くずリサイクル率(%)



廃アルミ排出量(kg)と※原単位の推移



5月に実施した不用品整理(2,250kg)の影響が大きく、事業系一般廃棄物排出量が約3倍増加という結果となりました。しかし、それを除けば1,046年と昨年度より減少しており、不用品回収以外の増加要因は特になかったものと判断します。

生産量が23.5%増加したこともあり、廃アルミ量も19.5%増加しています。スクラップより生産の増加量が多かったことから、無駄な排出は抑制され、理想的な生産活動ができたものと判断します。

※紙くずリサイクル率は以下の式で計算します。

※廃アルミの原単位は調整原単位を使用します。

$$\text{紙くずリサイクル率}(\%) = \frac{\text{紙くず}(\text{kg})}{\text{事業系}(\text{kg}) + \text{産廃}(\text{kg}) + \text{紙くず}(\text{kg})} \times 100$$

原単位算出式：基準年度の洗浄袋数を基に調整した排出量(kg) ÷ 洗浄袋数(袋)
原単位計算方法については26頁「※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法」をご覧ください。

Act 廃棄物排出量削減に関する代表者の評価・指示

特に廃アルミの原単位が僅かずつでも減少していることは、従業員の努力の結果であると思う。

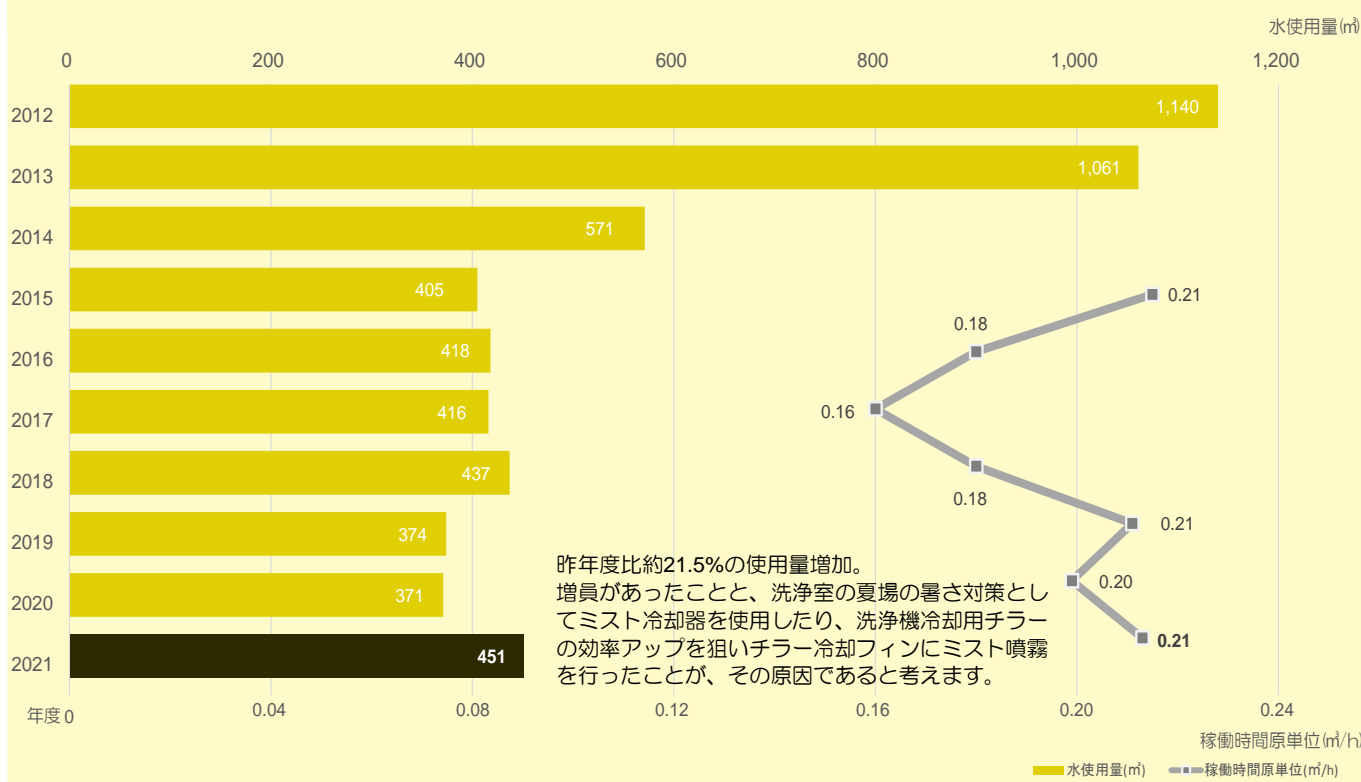
8.PDCAで見る2021年度環境活動

水使用量(目標値：月稼働時間原単位(m³/h))

Plan 計画 Do 実施 Check 確認 中期環境経営目標・2021年度環境経営計画及び実施状況

| 基準年度 | 2015年度 | 中期環境経営目標 | | | | | |
|----------------------------|-------------------|----------|-------|------------------------------------|-------|-------|-------|
| | | 年度 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 |
| 基準年度 | 0.215 | 目標値 | 0.206 | 0.204 | 0.202 | 0.200 | 0.198 |
| 実績 | m ³ /h | 基準年度比 | 4%削減 | 5%削減 | 6%削減 | 7%削減 | 8%削減 |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | | |
| 使用量記録・月毎の見直し (宮本 哲次) | | | 9点 | 原単位目標達成率97.11%。 未達につき次年度は目標据置。 | | | |
| 節水のための啓発教育実施 (宮本 哲次) | | | 10点 | 計画2回、実施2回(計画通り)。 次年度も年2回の実施を計画。 | | | |
| 雨水有効活用(浄化槽汲取り用) (宮本 哲次) | | | 10点 | 計画通り実施。 次年度も継続。 | | | |
| 水道メータの監視・速報値掲 (宮本 哲次) | | | 10点 | 計画通り実施。 次年度も継続。 | | | |
| 蛇口点検(問題あれば補修) (宮本 哲次) | | | 10点 | 計画通り実施。 次年度も継続。 | | | |
| 節水ポスターの更新 (宮本 哲次) | | | 10点 | 計画通り実施。 次年度も継続。 | | | |

水使用量(m³)と稼働時間原単位(m³/h)の推移(但し稼働時間原単位の評価は2015年度より)



Act 見直し 水使用量削減に関する代表者の評価・指示

夏の洗浄室の暑さは、エアコンが利かないため局所的な対策に頼らざるを得ず、水使用量の増加は仕方ないことと思う。

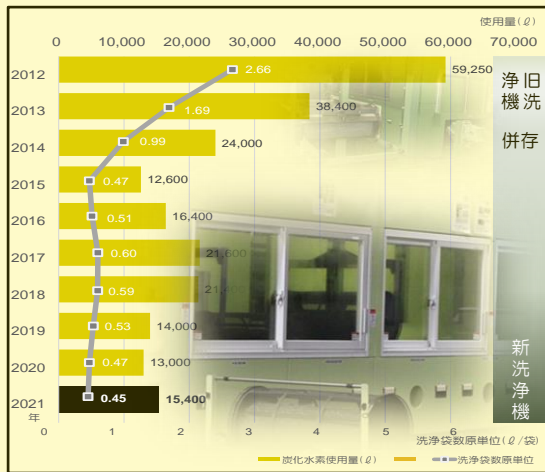
化学物質使用量(目標値：各グラフ上部に記載)

Plan 計画 Do 実施 Check 確認 **中期環境経営目標・2021年度環境経営計画及び実施状況**

| 炭化水素 | 基準年度 | 2017年度 | 中期環境経営目標 | | | | |
|--------------------------------------|-------|---------------|----------|--------|------------------------------------|--------|--------|
| | 基準年実績 | 0.603 l/袋 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| | 目標値 | | 0.579 | 0.573 | 0.567 | 0.561 | 0.555 |
| | 基準年度比 | | 4%削減 | 5%削減 | 6%削減 | 7%削減 | 8%削減 |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | |
| 使用量記録・月毎の見直し (齊藤 進) | | 12 持続可能な消費の推進 | | 10点 | 目標達成率129.54%。 次年度は基準年△5%を目標とする。 | | |
| 洗浄機の始業点検及び定期メンテナンス実施 (来 淳一郎、来 博行) | | 9 気候変動への対応 | | 10点 | どちらも計画通り実施。 次年度も継続。 | | |

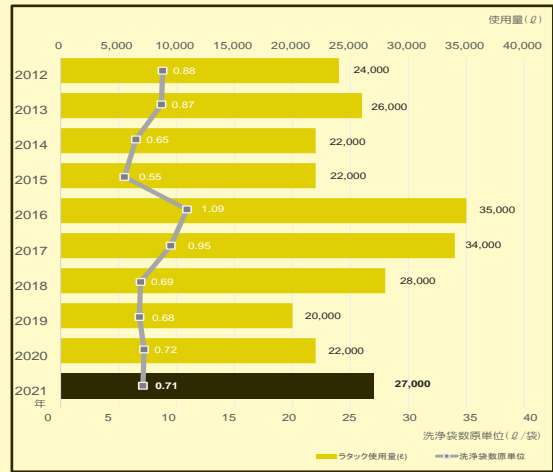
| 潤滑油 | 基準年度 | 2010年度 | 中期環境経営目標 | | | | |
|--------------------------|-------|---------------|----------|--------|-------------------------------------|--------|--------|
| | 基準年実績 | 0.93 l/調整袋 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| | 目標値 | | 0.84 | 0.83 | 0.82 | 0.81 | 0.80 |
| | 基準年度比 | | 10%削減 | 11%削減 | 12%削減 | 13%削減 | 14%削減 |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | |
| 使用量記録・月毎の見直し (来 淳一郎) | | 12 持続可能な消費の推進 | | 10点 | 総量目標達成率117.1% 次年度は基準年△11%を目標とする。 | | |
| オイルクリーニング装置調査 (来 淳一郎) | | 9 気候変動への対応 | | 2点 | 前年度同様有効策は見つからず。 諦めず次年度も継続。 | | |

炭化水素使用量(l)と※原単位の推移
目標値：洗浄袋数(調整なし)原単位(l/袋)



使用量は18.5%の増加となりました。しかし、生産量の増加率は23.5%とそれよりも高水準。従って、現状の施策の有効性はかなり高いものと判断します。

潤滑油使用量(l)と※原単位の推移
目標値：調整洗浄袋数原単位(l/袋)



使用量約22.7%の増加で、生産量の増加率は23.5%とほぼ同等。以上のことから年間を通じて使用状況に特段の問題はなかったものと判断します。

※潤滑油の原単位は調整原単位を使用します。

原単位算出式：基準年度の洗浄袋数を基に調整した排出量(kg)÷洗浄袋数(袋)
原単位計算方法については26頁「※1洗浄袋数(調整)原単位とその算出方法」をご覧ください。

Act 見直し **化学物質(炭化水素、潤滑油)使用量削減に関する代表者の評価・指**

炭化水素、潤滑油は共に購入単価が高い上に、最近の値上がり率も高い。少しずつでも原単位が減少しているのは従業員の努力の結果であり、感謝している。

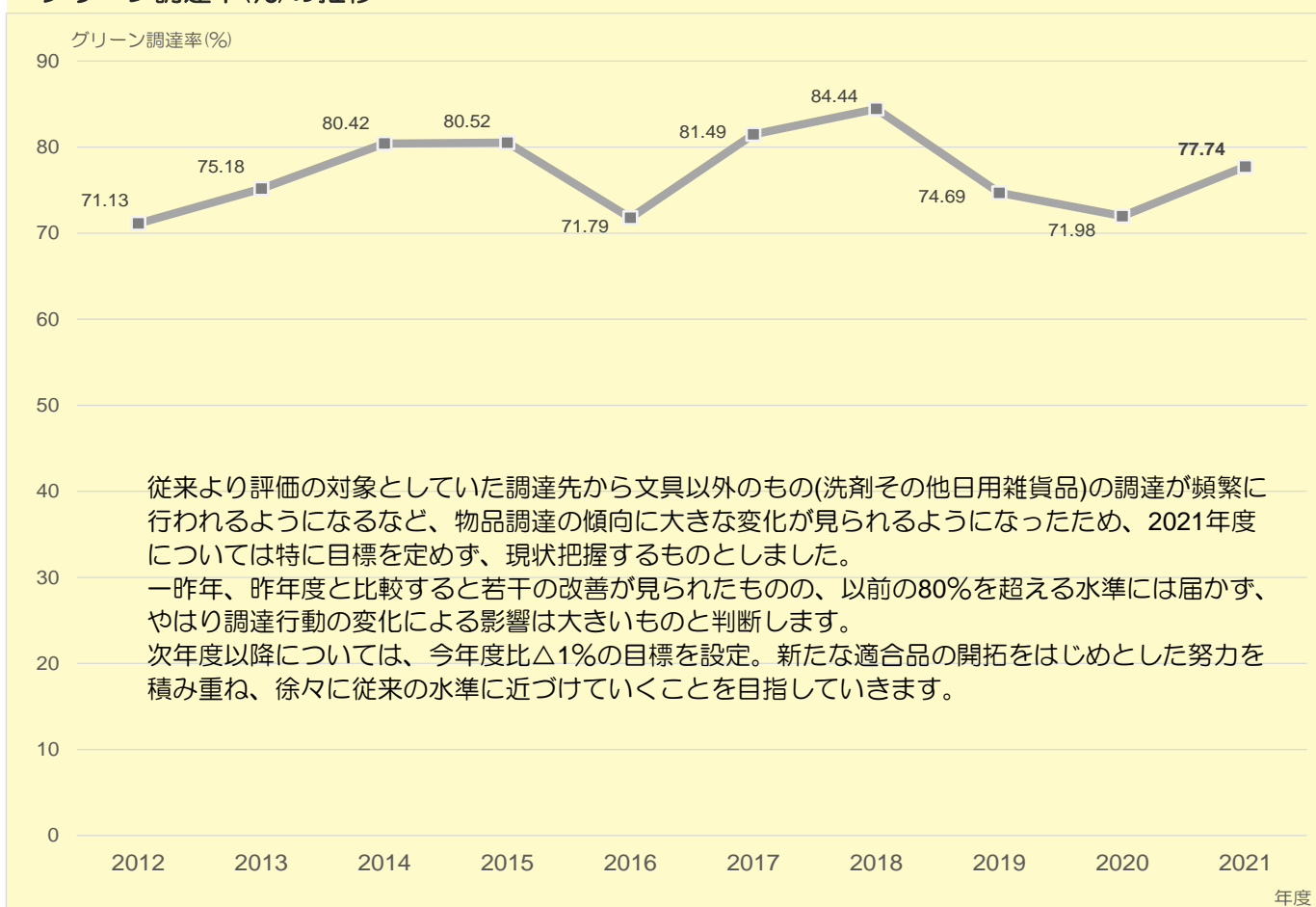
8.PDCAで見る2021年度環境活動

グリーン調達(目標値:グリーン調達率(%))

Plan 計画 Do 実施 Check 確認 中期環境経営目標・2021年度環境経営計画及び実施状況

| 基準年度 - 年度 | 中期環境経営目標 | | | | | |
|---------------------------------|----------|---|------|---|------|------|
| | 年度 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 |
| 基準年度 - 実績 | 目標値 | 近年、購入傾向に大きな変化が見られたことから2021年度は現状把握としました。 | | | | |
| | % 基準年度比 | | | | | |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 | | |
| グリーン購入率の記録・見直し、 (福田 則子) | | 12 つくる責任 循环利用 | 一点 | グリーン購入率77.74%。 次年度は今年度を基準年度に設定、今年度+1%(78.74%)を目標とする。 | | |
| 物品購入時、カタログにより選別し優先購入 (福田 則子) | | 12 つくる責任 循环利用 | 10点 | 計画通り購入の都度実施。 次年度も継続。 | | |

グリーン調達率(%)の推移



Act 見直し グリーン調達に関する代表者の評価・指示

例えばボールペン自体はグリーン購入対象品だが、中味の替え芯はそうではないという変な事例もあり、グリーンの定義も考えた方が良さそう。
芯もグリーンとみなすことも考えた方が良いと思う。

来ハトメ環境トピックス2021

④ かくして当社は二酸化炭素排出量を削減した
～過去のターニングポイントと2021年度の取組(2)～

2021年度までのあらすじ

2010年にEA21の認証を取得して以後、当初400t超だった年間CO₂排出量は、2018年にはついに年間10tを切る水準に。しかし、この実績の最大の原動力であるグリーン電力は、コストダウンの脅威にさらされる存在に……。その動きを何とか死守し、その後の脅威に立ち向かう術を探るためシナリオ分析を実施。

「守り」をがっちり固め、更なる削減への準備を万端に整え、いよいよ「脱炭素の年」2021年を迎えることになりました。

閉塞感払拭へ！「環境省事業」に応募

とは言え、脱炭素のネタがそんなに簡単にあるものでもなく、ベストシナリオとして「石油暖房廃止」や「フォークリフトの電化」、はたまた「給湯器の電化」と様々な夢を語ってはみたものの、どれも莫大なコストがかかることは必至でそんなに簡単に進めようがないことばかり……。閉塞感に苛まれていたそんな折、以前SDGs動画の撮影でお世話になった方から「環境省で今年度実施する脱炭素のモデル事業がある。もうすぐ公募が始まるから応募してみても」とのお誘いが。国の事業なので、採択されなければ参加できないけれど、何もしなければもちろん前にも進めない。玉砕覚悟で応募すると、何と採択の連絡が……。

「もしかしたら、これで山を動かせるかも……」
明るい未来の入口が、ぼんやりと見えてきた。そんな気がしました。

いざ「環境省事業」へ

当社が応募、採択頂いたこの「環境省事業」、正式名称は「令和3年度中小企業の中長期の削減目標に向けた取組可能な対策行動の可視化モデル事業」ということか……。すみません、ちょっと長いので「環境省事業」と表記し、話を進めていくこととします。

「昨年、当社におけるCO₂排出量ゼロシナリオを策定しましたが、その妥当性及びシナリオ実現に向けて今後留意すべき点について、専門家様の視点でご評価いただければ幸いです」という応募動機の下採択頂いた「環境省事業」。私が真に期待していたのは「当社が今後留意すべきは、グリーン電力を維持し続けることと、残った電力以外のエネルギーを電化していくこと」と、専門家から御指摘頂くことで、社内の脱炭素化を一気に進めることでした。

打合せ、現地調査、調査結果報告会と進んでいくにつれ、私はこの事業の真の凄さに気付かされることとなります。設備更新の権限を握る社長、工

場長にその必要性を説くのは、大手シンクタンクの研究者と国が認める省エネの専門家。こうした錚々たる面々の教えを乞うたならば、どんな大きな山でも動かないわけがありません。あれよあれよという間に今まで進めようとしても

遅々として進まなかったあれこれが嘘のようなスピードで進んでいきました。

洗浄機の断熱、コンプレッサーの運用改善……。頂いた提案は短期間の内に実行され、効果についても目を見張

るものばかり。例えば、即決で実行に移した洗浄機の断熱の場合、断熱施工後には設定温度に到達するまでの時間が施工前の半分に。もちろん、この効果に社内中が驚きに包まれたことは、言うまでもありません。

改善提案は、灯油暖房器、ガス給湯器にも及ぶことに。この対応について社内で議論しているとき、社長の口からこの事業参加の成功を裏付ける、実に印象的な言葉が発せられたのです。



専門家の説明を聞く工場長

やっぴいかなければ生き残れない！

わずか2回の打合せ、それがどれだけ経営層の心に響くものとなり得たのか？それをよく表している言葉こそ、会議にて社長が発した「やっぴいかなければ生き残れない」の一言。経営者からこの言葉を聞いただけでも「環境省事業」に参加した意味はあった！そう断言できます。

肝心の改善提案への対応については、最も負荷の大きい灯油暖房器の廃止決定という大きな成果を得ることに見事成功。予算の都合でガスの電化は見送りになったものの、経営層にガスの環境負荷の印象を植え付けることには見事成功！これも一つの成果ではないかと思えます。

おまけの後日談

灯油暖房の廃止を決断し、最後の打合せでその旨を報告。できれば補助金を使って進めたいとの意向を伝えると、後日担当者様より使用可能な補助金の御紹介までして頂きました。

当社の「環境省事業」は社内と経営層の意識改革、初の補助金申請・その後採択と、いいことづくめの内に幕を閉じました。

最後に、削減目標を「2030年に95%削減、2035年カーボンニュートラル」と見直したことも報告させて頂きます。高い目標ですが、今回の御指導を形にしていけば絶対できる！と言い聞かせ、あと8年、全速力で突っ走る覚悟です!!

8.PDCAで見る2021年度環境活動

当社を、もっと知ってほしいから～その他の環境活動(ステ

以下の活動は、今までに御紹介した法規制遵守、緊急事態対応、KPI(重要業績評価指標)設定項目以外の当社の環境活動と関連SDGs及び昨年度の取組状況の評価になります。

Plan 2021年度環境経営計画、SDGs及び実施状況の評価 Do 実施 Check 確認

| | 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
|---------------------------|-------------------------------------|---|-----|--|
| 適正管理 化学物質の | サプライヤー調査及び不 使用証明書発行依頼 (石原 隆雅) | 11 持続可能な消費と生産 12 持続可能な消費と生産 16 平和と公正 | 9点 | 毎回実施するも1件納期超過があったため1点減点。 次年度は納期に細心の注意を払う。 |
| | SDSの周知 (山崎 洋幸) | 11 持続可能な消費と生産 16 平和と公正 | 10点 | 使用箇所近辺にファイル管理。 安衛法義務につき当然継続実施。 |
| | 化学物質調査実施 (石原 隆雅) | 11 持続可能な消費と生産 16 平和と公正 | 10点 | 顧客より要請時に都度実施。 次年度も継続(新規採用時にも実施する)。 |
| | リスクアセスメント (山崎 洋幸) | 3 気候変動 11 持続可能な消費と生産 12 持続可能な消費と生産 16 平和と公正 | 一点 | 該当事案発生せず。 次年度は該当事案発生時には実施。 |
| | 化学物質に関する教育 (加藤 直) | 4 質の高い教育をみんなに 11 持続可能な消費と生産 12 持続可能な消費と生産 16 平和と公正 | 10点 | 計画2回実施2回(計画通り)。 次年度も年2回の実施を計画。 |
| | 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
| 活動の質の継続的な改善・向上 環境への取組の | エコ替え提案についての検討及び導入の決定 (来 満、来 昌伸) | 7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費と生産 | 一点 | 提案なかったため実行もなし。 次年度も実施(現在、エアコンの入替、灯油暖房器の廃止を検討中)。 |
| | 資格取得支援 (来 満、来 昌伸) | 4 質の高い教育をみんなに | 10点 | 2021年度当該事案1例。 次年度も実施。 |
| | 省エネ支援受診 (来 昌伸、有山 浩一郎) | 7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動対策を加速させる | 10点 | 環境省事業にて代替(38頁参照)。 次年度は当事業改善提案を実施。 |
| | eco検定講座実施 (来 博行) | 4 質の高い教育をみんなに | 10点 | 計画・実施共に12回(計画通り)。 次年度も年12回を計画。 |
| | セミナー情報の案内 (石原 隆雅) | 4 質の高い教育をみんなに | 10点 | 主に外部向けに情報を提供。 次年度も実施。 |
| | 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
| 訓練の実施 環境教育・ | 製造部門環境教育 (来 淳一郎) | 4 質の高い教育をみんなに | 10点 | 計画年4回実施4回(計画通り実施)。 次年度も年4回の実施を計画。 |
| | 管理部門環境教育 (佐々木 勝) | 4 質の高い教育をみんなに | 10点 | 計画年4回実施4回(計画通り実施)。 次年度も年4回の実施を計画。 |
| | コスト意識改善(備品の価格表記及び管理) (大小堀 レオニラ) | 4 質の高い教育をみんなに 12 持続可能な消費と生産 | 5点 | 価格表記、備品持出時管理はされるもそれにとどまる。 次年度は活用及び改善も実施。 |
| | 取組概要(担当者) | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
| 5Sの徹底 | 5S活動実施(グループ) (全従業員) | 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を推進する | 10点 | 各グループ毎月実施(計画通り)。 次年度も同様の目標にて実施を計画。 |
| | 5S活動活性化の推進 (山崎 洋幸) | 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を推進する | 10点 | 毎月掲示及び朝礼啓発を実施。 次年度も同様の目標にて実施を計画。 |

ークホルダーエンゲージメント)～

そのいずれも、お客様、従業員の家族の皆様をはじめ全ての関係者様に当社を知って頂き、当社のファンになって頂くための活動となりますので「ステークホルダーエンゲージメント」という視点でこれらの活動の実施状況を御紹介します。

| 取組概要(担当者) | | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
|----------------|--|------|------|---|
| 生物多様性の保全に関する取組 | 生物多様性教育の実施 (石原 隆雅) | | 10点 | 計画・実施共に4回(計画通り)。次年度も年4回の実施を計画。 |
| | 森林認証品使用及び切替 (福田 則子) | | 10点 | 積極的に森林認証品をしよう。次年度も継続実施。 |
| | 用水路の定点撮影 (石原 隆雅) | | 10点 | 計画年4回、計画通り実施。次年度も継続して記録。 |
| | 定点撮影結果の分析 (石原 隆雅) | | 10点 | 専用フォーマットに掲示比較可能な状態で記録。次年度も継続して記録。 |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
| 地域貢献 | 環境ボランティア参加 (来 昌伸) | | 9点 | 8月に不参加事案あるも他は全て参加。次年度も継続(新規参加者の勧誘も実施)。 |
| | ボランティア実施報告 (ボランティア参加者) | | 0点 | 計画のみで実行できず。次年度は社内メール活用を計画。 |
| | ペットボトルキャップ収集及び寄付 (来 博行) | | 10点 | 2021年度8,900個、累計56,000個のペットボトルキャップを収集・寄付。次年度も継続して実施。 |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
| SDGs | SDGs個人目標への行 (全従業員) | ※ | 7.5点 | 各自実施(評価点は「私のSDGs」平均点)次年度も継続して実施。 |
| | SDGsに関する情報発信、啓発教育 (石原 隆雅) | | 10点 | 「月刊 まいにちSDGs」毎月発行及び外部発信を実施。次年度も継続して実施。 |
| 取組概要(担当者) | | SDGs | 評価点 | 寸評・次年度の取組 |
| 情報開示 | 環境経営レポート及び活動状況の公開 (石原 隆雅) | | 10点 | 自社ホームページにて公開。次年度も継続(次年度はHPでの開示を更に強化する予定)。 |
| | PR動画サイトの開設 (石原 隆雅) | | 10点 | 2021年4月1日Youtubeに開設。次年度も継続して維持。 |
| | PR動画サイトの運営及びメンテナンス (石原 隆雅) | | 5点 | 動画アップ年3本、現在停滞中。次年度も動画アップを計画。 |
| | レポート及び動画サイト更新案内等外部組織との情報交換。 (石原 隆雅) | | 10点 | レポート更新情報をメールにて各所に連絡。次年度も継続して実施。 |

※SDGsの取組は、個人により異なります(「私のSDGs」(7～13頁)御参照下さい)。

8.PDCAで見る2021年度環境活動

お客様の最重要関心事項だからこそ～化学物質管理～

当社の製品を実際にお買い上げ頂く全てのお客様が環境分野において当社に求める最重要事項はズバリ「化学物質管理」。

「製品の購入」という形で頂いている期待に全力でお応えするため、当社では以下の様な化学物質管理に関する取組を実施しています。

1) Do 実施 万全な材料・副資材管理(SDSの作業者への周知)

当社はアルミプレス加工専門の会社。従って、材料(アルミ条)と潤滑油、洗浄剤(炭化水素)の3点には、特に注意を払い管理する必要があります。

当社ではそれらの安全性を担保するため、顧客要請時以外にも、年に一度当該材料・副資材のSDSを請求。最新版を常に使用場所に常備し、間違いの無い製品・副資材の管理に努めています。



洗浄場(左)と材料置場(右)に設置されたSDS

2) Do 実施 迅速かつ誠心誠意の御対応(化学物質調査依頼)

規制対象化学物質の増加傾向は例年同様。2021年度REACH規則における2度の追加(第25,26次)をはじめ、人権侵害に加担する鉱物(コバルト、マイカ)の使用調査、材料新規認定のための調査及び御得意先様独自の調査など計6件(但し、REACHについては複数の御得意先様より御依頼あり)の調査依頼を頂き、サプライヤー様の御協力の下、全ての該当物質不使用であることを確認できました。

引続き、お客様に安心して当社の製品をお使い頂くための大切な取組と位置付け、こうした御依頼に誠心誠意御対応していきます。

| 年・月 | 御依頼内容 | 結果 |
|---------|------------------------|----------|
| 2021.3 | 梱包材に関する7物質含有調査 | 既知の含有なし |
| 2021.5 | 新規認定のための化学物質調査 | 不使用・認定 |
| 2021.7 | REACH SVHC第25次リスト(8物質) | 既知の含有なし |
| 2021.10 | コバルト、マイカ使用調査 | 既知の含有なし |
| 2022.1 | REACH SVHC第26次リスト(4物質) | 既知の含有なし |
| 2021.1 | 得意先様環境負荷物質一覧表改訂に伴う調査 | 全対象物質非含有 |

2021年度化学物質調査依頼とその回答結果

3) Do 実施 化学物質クイズも例年通り実施

毎回全員参加のクイズ形式で実施している「法規制教育」。
その中で「顧客重視問題」として化学物質関連の問題を出題しています。
今年は、こんな難問(?)を出題してみました(右：2021年4月出題分より、答えは②)。

問題

3. 【顧客重視項目問題・復習】(配点:2点)
使用禁止物質不使用証明書は、製品の生産のために用いる工具類についても、取り交わさなければならない。

- ①必ず必要である(取り交わしが無い場合、取引は原則禁止)
②必ずしも必要としない

解説

厳密には法令とは無関係ですが、使用禁止物質の解釈に関する問題です。これについては2012年12月12日にEU環境総局から発表されたRoHS2FAQの9.7に、関連するQ&Aがあります。
(Q9.7 物質の使用制限は、製造プロセスに適用されるか？
いいえ、使用制限は、完成EEEにのみ適用される。それゆえ、生産プロセスがそのほかの規制に違反していても、かつ、完成EEEが最大許容濃度を上回る制限物質を含有していない限り、制限物質は完成EEEの製造プロセスで使用されても構わない。)

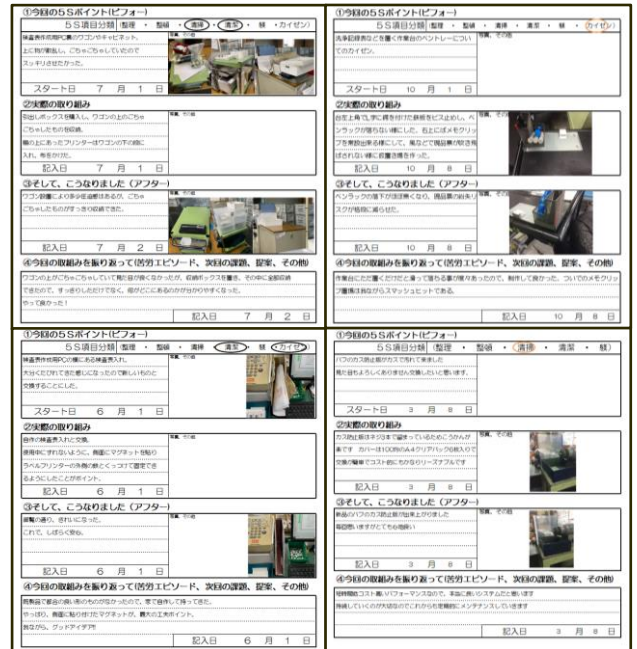
自主性重視の活動が成長を後押し～従業員の取組～

環境への取組を通じて従業員に期待することはズバリ「自主性」。言われて行う取組ではなく、自主的な行動に基づくものとなるように工夫されています。

取組の中で様々な提案や環境教育の講師といった重要な役割を付与。活動当初こそ「どうしよう……」と戸惑う従業員がほとんどだったものの、現在ではこうした経験を自身に変え、多くの従業員が成長。言わなくても動いてくれるので、責任者は大変楽だとか……。

1) Do 実施 小さなことの積み重ねで職場を変える～5Sの取組～

傷んだ部分の修繕、整理棚の設置、普段の掃除でなかなかできない部分の清掃…
 …。こんな小さなことを2014年1月から今日まで各グループで毎月コツコツ積み重ね続けているのが、当社の5S活動。
 一つ一つは本当に小さな活動ですが、長く続けることで社内の美化はもちろん、従業員の自主性や作業環境改善意識の向上という良い影響をもたらし続けています。
 また、取組の総指揮を担当する従業員から「次年度は労働安全衛生ともからめた取組としてもっと発展させていきたい」との意思表示も。今後の更なる進化が期待できそうです。

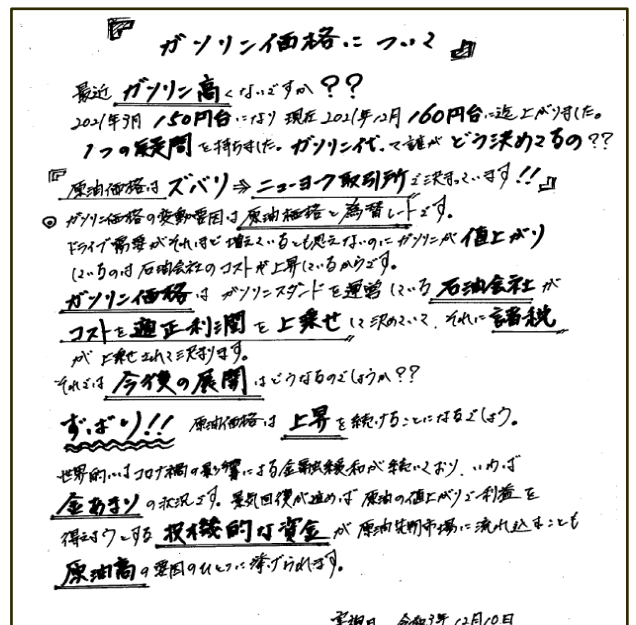


毎月の5S活動の一例
 (2021年度5S活動より抜粋)

3) Do 実施 求めるのは「事前学習」と「度胸試し」～さまざまな環境教育～

新型コロナウイルス感染防止の観点から、全社員を集めてのQC会議が中断されたのが2020年4月。その影響で講義形式はストップを余儀なくされているものの、当社環境教育はそんな逆境にも負けず、掲示、資料配布、テストといった様々な形式で計画通りに続いています(2021年度は全38回実施)。

事前に資料を作成する「事前学習」はコロナ以前と同様ですが、従業員の前で発表するという「度胸試し」については残念ながら叶わぬ状況……。しかし、発表自体は入口に設置した掲示板への教育資料掲示に形を変えて継続中。自分の作成した資料が内部だけでなく外部の方にも見られるというコロナ前とは別のプレッシャーも感じるようになったとか……。



味のある手書き教育資料(2021年12月 ガソリン)

8.PDCAで見る2021年度環境活動

丁寧な情報開示で広げる環境への取組の輪～世界中の皆様

当社では、活動当初より環境報告書(環境活動(経営)レポート)における丁寧な情報開示に努めてきました。実際にレポートをお読み頂き、当社の活動にご興味をお持ちになった自治体様、団体様、教育機関様等が主催される数々のセミナー等にて事例発表の大役を頂戴したこともあります。

小さな会社が出す拙いレポートに秘める発信力にただただ驚くばかり、というのが本音ですが、それぞれの団体様が主催される大切なイベントにお招き頂き、事例発表のチャンスを受けたことには、感謝以外の言葉が見つかりません。今まで当社をお招き下さった各団体の皆様、本当に、ありがとうございました。

1) **Do** 実施 丁寧な情報開示と多様な媒体による公開(環境経営レポート)

以下の各媒体にて当社環境経営レポート絶賛公開中です。

当社環境経営レポート公開ウェブサイト一覧

■ 当社ホームページ

2012年版～2021年版まで公開中

<http://yashio@rai-hatome.co.jp>

左下「ニュース」からご覧頂きたい年のPDFアイコンをクリック。

審査終了後(9月頃予定)に最新版を公開予定。
2022年、当社ウェブサイトリニューアルを計画!



QRコード

■ ea21中央事務局ウェブサイト

最新版のみ公開

www.ea21.jp/

トップページ→認証・取得された事業者の方へ→環境経営レポートについて(右画面)検索欄「認証・登録番号(0005644)」または「事業者名(来ハトメ工業)」と入力し「上記の内容で探す」をクリック。



QRコード

■ CSR図書館.net

2015～2020年版まで公開中

csr-toshokan.net/

トップページ下の「報告書検索」(四角囲み部分)に「来ハトメ工業株式会社」と入力し「検索」をクリック



QRコード

に向けた取組～

ここでは、当社の情報開示の基本姿勢とそれがご縁でお招き頂いた各セミナー(2021年度開催分)における事例発表の様子、そして実際の事業者様との交流を通じた活動の一端などをご紹介します。

新型コロナウイルスは2021年になっても残念ながら衰えることを知らず、そのせいもあり対面が敬遠される傾向に……。しかしそんな状況下において当社は2021年度も対面、オンライン合わせて計4度もセミナーにおける事例発表の機会を頂戴することができました。オンラインセミナーでは実は会社の事務室がセミナー会場だったことも……。何はともあれ、難しい状況下において様々な機会を頂戴できましたことに、心より感謝申し上げます。

2) Do 実施 オンラインでも熱く語る～事例発表～

大変名誉且つ幸運なこと、コロナ禍の難しい時期にありながら、年間計4回のセミナー事例発表の機会を頂戴することができました。

右は、2021年の一般財団法人省エネルギーセンター様主催オンラインセミナー『SBTとカーボンニュートラル経営』で使用したスライドの表紙。

「あれ？どこかで見たデザイン、もしかして、昨年度の環境経営レポートの表紙の下半分？」というのはひとまず置いておいて、当セミナー、当社にとって初めてのオンラインセミナーでした。

数名のスタッフの方の前で、機材から遅れて聞こえてくる自分の声に戸惑いながら、貴重な経験をさせて頂きました。



事例紹介スライドの表紙
一般財団法人省エネルギーセンター オンラインセミナー
『SBTとカーボンニュートラル経営』(2021年12月)

おまけ

セミナー「今日から始める脱炭素~CO₂排出量50%削減を目指して~」の気になる中味を大公開!!

図らずも、こんなに盛大にスペースが余っている事態に……。さすがにリンク用のQRコードで埋めるには大きすぎるし、そのまま審査に回したら書類審査で、「44頁 大きなスペースがあります云々」と指摘が来そうな嫌な予感も……。

ということで、ここでは「今日から始める脱炭素~CO₂排出量50%削減を目指して~」の中身を披露し、この広いスペースの有効活用をさせて頂きます。

あらすじ(31~32頁と同内容)

2010年にEA21認証を取得以来、様々な手段を駆使し、当初400t/年を超えていたCO₂排出量を約1/40の水準まで削減。ところが非グリーン電力への切替等の不穏な空気も漂うなど、一筋縄にはいかない状況も……。そこで、守りを固めるべく省エネ支援、シナリオ分析を実施。2030年目標に向かって突き進む決意を固めたのであった。

セミナーでお伝えしたかったこと

- ①まずは「見える化」から
円グラフ等で自社のエネルギー使用状況を知ること、どこに対策をすべきかを明確にしてみては?
- ②機器更新こそ最大の削減策
機器更新時は最大の削減チャンス！特に化石燃料から電気に切替えられる機器が狙い目。
- ③「背伸び」が重要
「中小企業だから」とか言わずに、セミナー等に参加し、積極的に情報収集しよう。
- ④熱意と社内教育が全て
社内の雑音に負けない熱意と理解者を増やすための教育は必須(責任者の腕の見せ所)。

8.PDCAで見る2021年度環境活動

ハッピーな未来への「予防」と「種まき」～未来に向けた

2021年度の取組を綴ったレポートもいよいよ最終章。やはり例年通りその最後は、ボランティア、生物多様性、SDGsといった取組、言わば当社従業員による渾身の未来への「予防」と「種まき」のための活動をお伝えしようと思います。

2010年代前半、当社が環境への取組を始めた頃「環境では飯は食えない」という言葉を浴びせられたものでした。確かに環境活動は本業の合間に、今までの業務のプラスアルファで行う取組。ある場面では我慢を、またある場面では慣例からの脱却を、そしてまたある場面では面倒な準備作業を強いる部分もありました。恐らく浴びせられたその言葉は、そんなことに対する不満の表れだったのでしょうか。

まだ、「チームマイナス6%」と叫ばれていた時代です。

1) **Do** 実施 八潮への、そして地球への恩返し(環境ボランティア)

当社は約50年、埼玉県八潮市で事業を続けさせて頂いています。どんなに環境配慮を心掛けても、そこは金属プレス加工業。大量の電気や潤滑油などを使えば、音も出す——。地域に、そして地球に負荷をかけてしまっているのも事実です。

環境ボランティアは、そんな我々ができるせめてもの恩返し。有志7名が強い使命感を持って、街の美化に力を注いでいます。今回は、参加記録に綴られた7名の声をここに掲載。活動の、そしてポイ捨てのリアルな現状をお伝えします。

参加者7名といつても多め。これで多めというのも悲しい限りだが、現実には厳しい……。
さて、肝心のゴミの状況はというと、今月は何といてもタバコ。他のゴミは減っても、それだけはどうしても減らない……。地道に拾って、捨てにくい状況を作るしかないのかな……。
2021年3月 石原 隆雅

今月はゴミの量がかなり減っていて、カン等が袋8分目、可燃ごみ約3袋弱くらいだった。こういう活動を通行人に見てもらい、少しでもポイ捨てがなくなるようお願いしたい。
2021年4月 加藤 直

街がきれいになってきたので、ゴミも減っている。
残念ながら主要道路の側道などには、ポイ捨てゴミが目立つ。
参加人数は5名だった。
2021年5月 宮本 頌次

コロナのせいか、マスクのゴミがたくさんあった。
ポイ捨てはテレビ、エアコンのリモコンライター30個。
2021年6月 来 尊重

本日はゴミの量が多く、特に空き缶が大量に捨てられていた。ゴミ袋がいっぱいになるほど多かったんで、とても心が痛んだ。引き続き、ゴミ拾いを精一杯頑張っていきたい。
2021年7月 田辺 栄一

タバコの吸い殻ゴミが減少甚だしく、ほとんど目につかなくなった。タバコの煙草の殻が効いているのだろう。また、橋本峠のカケラの山が放置してあり、恐らくボランティアの目を想定して捨てている確信犯の仕業だという人もいて、とてもいやな気持ちになった(参加人数は5人)。
2021年9月 来 昌伸

天候晴れ。参加者6名。気になったのは空き缶の多さ。これまで1日に捨てた数では最も多い19個以上の空き缶を捨てた。この半数がビールの空き缶。これは、コロナ禍における路上飲みの影響だろうか？
2021年10月 来 博行

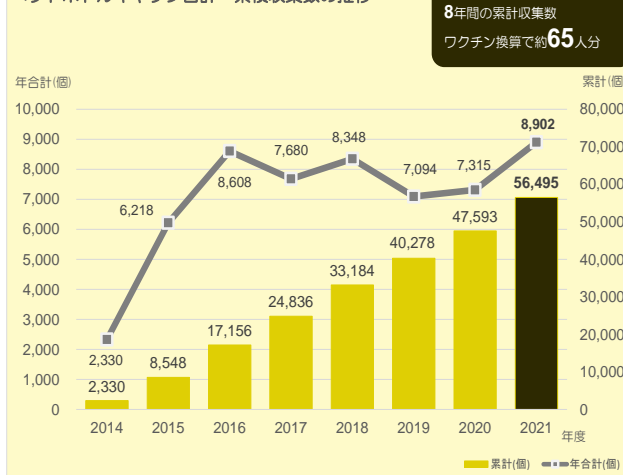
「ボランティア活動記録」より

2) **Do** 実施 65人の命を救った地道な社会貢献(ペットボトルキャップ収集)

2014年スタート。飲み終わったペットボトルキャップを地道に集め、寄付をするというシンプルな活動ではありますが、コツコツと続けること8年、累計で65人分のワクチンを提供したことになります。

この取組を「私のSDGs」の目標として掲げ、意識して取り組んでいる従業員も多く、今後も細く長く続いていく取組となりそうです。

ペットボトルキャップ合計・累積収集数の推移



さまざまな取組～

しかし時代は進み、こうした取組はその当時では想像もできないくらい認知されるものとなりました。メディアや教育現場でのSDGs啓発のお陰でSDGsは特別な存在ではなくなり、多くの人々がSDGsに通ずることに意識して取り組む時代となりました。言うなれば「1億2千総「私のSDGs」時代」。いよいよ「環境で飯が食える」時代が近づいてきたかも知れません。そして今、「種まき」の活動に過ぎなかったESGは今や企業にとって避けて通れないものとなり、SDGsが求める環境の部分は、「カーボンニュートラル」という人類の存亡を賭けた挑戦が究極の目標となりつつあります。環境を極めた企業が生き残れる時代の到来。まきつづけた「種」がそろそろ「芽」となる、そんな予感がしています。

3) Do 実施 生物多様性をクイズで学ぶ(生物多様性教育)

いざ取り組むといっても、何をすれば良いのか正直思いつかない生物多様性。当社はこれを、全員参加のクイズ形式で楽しく学んでいます。問題は、教育担当者が選んだ書籍の面白い部分からの出題。問題にチャレンジすることで生物多様性の書籍を1冊読破したのと同じ効果が得られることを期待して、せっせと問題を作っています。

第1問(復習問題、2ポイント)
2000年からの10年間の間に失われた世界中の熱帯雨林の面積の合計は、日本の国土面積よりも広い。
① ② ③ ④

第2問
人類の歴史上、生物資源(植物や動物)を利用すること、生物多様性を保全することが両立できた例は存在しない。
① ② ③ ④

第3問
生物多様性条約には大変重い罰則がある。
① ② ③ ④

2021年4月出題分より
(答えは第1問②、第2問②、第3問②)

4) Do 実施 今年も何とか月刊体制を維持(月刊 まいにちSDGs)

社内のSDGsの取組の中で、実は一番大変なのが、この「月刊 まいにちSDGs」の発行。月末ギリギリに原稿を書き上げること12回、何度も「月刊をしれっと季刊(年刊)に変えてしまおうか……」という誘惑とも戦いながら、何とか2021年度も月刊を維持することができました！
というわけで、一番目立つ(?)最終頁にこんなにデカデカと載せさせて頂いたわけなのであります(この回は直前のSDGsセミナーで聴講させて頂いた食品ジャーナリストの井出 留美先生の講演内容より。現物の4分の1ほどのサイズで大変恐縮ですが、内容がとっても面白いので、是非お読み頂ければ幸いです)。

月刊 まいにちSDGs
～SDGsを使いこなす企業となるための情報誌～
2021年4月30日発行(通巻第40号)
来ハトメ工業株式会社E&A21事務局 SDGs推進委員会発行

「食品ロス」について考える(2)
前回、2月のセミナーで聴講した食品ロスジャーナリストで栄養学博士の井出 留美(い で る み) 氏の講演より
●食品ロス由来のCO2排出量は中国、アメリカに次ぐ世界第3位の規模。
●食品ゴミ処理費用は、ゴミ処理費用のほぼ半分を占める。
●食品ゴミの水分量は約80%
という現状をお伝えした。今回はこの「食品ゴミ」を減らすために私たち一人ひとりができることについて、先生の講演内容からピックアップして、お伝えしていきます。

私たちにできること

① 「てまえどり」を徹底しよう
牛乳を買う時、賞味期限の長い奥の方から取る。誰もがしがちなこの行動、実は食品ロスを生み出す原因の一つであると、井出氏は言う。
「賞味期限」は、明記された日時を過ぎると安全に食べることができない「消費期限」と異なり、単なる「おいしく食べられる目安」に過ぎない。もちろん、少しオーバーしたからといって、すぐに危険、というわけではないのだが、店舗では管理上、賞味期限が切れたものは廃棄しなければならぬ。賞味期限が長い食品を選んで買う行動、実はこうした食品ロスにつながる行動なのだ。皆さんの「私のSDGs」の中で、「スーパーの惣切品を上手に利用する」というものがあつた。実はこれ、財布にも、環境にもやさしい、素晴らしい行動であると言えるのだ。

② 卵の賞味期限のカラクリ
標榜と危険な食品の代名詞的な卵。ついでに賞味期限にも敏感になりがちだが、実は卵の賞味期限、神経質なほど厳格に設定されていることを、御存じだろうか？
市販の卵の賞味期限は2週間。これは、夏場に生で食べられる期間で設定されているが、実際には10℃以下で保存したものは7日間経過後のものでも、生で食べることができるという研究結果もある。
これを知っておけば、もしかしたら家庭における卵の廃棄、少し減らすことができるかもしれないのでは？

③ ミネラルウォーターの賞味期限
皆さんは、ペットボトルのミネラルウォーターの賞味期限、実は製品の劣化の度合いと全く無関係に設定されているというのを意識しただろうか？
ペットボトル入りの飲料は、長く保存する容器を介して蒸発してしまふ、量が目減りしてしまう。日本では、計量法という法律において「内容量の少ない製品を売ってはいけない」と定められており、実は飲料の賞味期限は、この法律に基づき自然に容量が減る期間を想定して設定されているのだ。ということは、賞味期限が過ぎていても製品の劣化については全く無関係!すなわち「普通に飲める」のだ!

④ その他にも
「ゴミの量を『見える化』する。余った食品を撮影し余った理由を記録する。空欄状態でスーパーに行かない……」と食品ロス削減の方法は他にもある。が、一番大事なものは、我々一人ひとりが正しい知識と意識を持って真剣に向き合うこと、これに尽きると思う。

記念すべき第40号(2021年4月発行)

Act 見直し その他の取組に関する代表者の評価・指示

私が一番重要だと思うことは環境ボランティアです。特に冬の寒い朝、出社する前ゴミ拾いをするには頭が下がります。最近では参加する人が減少傾向にあるとのことですが、地域とのつながりのある重要な活動ですので、続けてほしいと思います。

8.PDCAで見る2021年度環境活動

SDGsで見る2021年度環境活動総括

Check 2021年度環境経営計画SDGs評価点採点結果

当社の2021年度の環境活動計画をSDGs化し、各ゴールに該当する活動の数(アイコンベース)を集計した結果は、以下の通りとなりました。

| NO. | アイコン | SDGs目標 | 具体的施策 | 取組数 | ※合計数 |
|------------------------|------|----------|-----------------------|------------|--------------|
| 1 | | 貧困撲滅 | 募金 ボランティア | 1 | 1 (1) |
| 2 | | 食糧問題解決 | 食べ残し防止 | 0 | 0 (0) |
| 3 | | 健康 | 禁酒、禁煙、運動 労働安全 | 4 | 4 (8) |
| 4 | | 教育 | 学習 | 28 | 28 (31) |
| 5 | | 男女平等 | 家事分担 | 2 | 2 (2) |
| 6 | | 水 | 水質汚濁防止 節水 | 10 | 10 (9) |
| 7 | | エネルギー | クリーンエネルギーへの転換 | 4 | 4 (5) |
| 8 | | 経済成長、労働 | 雇用 売上目標達成 | 5 | 5 (0) |
| 9 | | インフラ、産業化 | 生産 不良削減 | 11 | 11 (6) |
| 10 | | 不平等是正 | 賃金改善 外国人差別改善 | 0 | 0 (0) |
| 11 | | 都市、居住 | 住宅購入 防災、SDS | 13 | 13 (12) |
| 12 | | 生産、消費 | グリーン調達 廃棄物、CSR | 33 | 33 (33) |
| 13 | | 気候変動対策 | 温室効果ガス削減 | 18 | 18 (18) |
| 14 | | 海洋保全 | 海洋汚染防止 生態系保護 | 3 | 3 (3) |
| 15 | | 陸域保全 | 生態系保全 砂漠化対策 | 6 | 6 (6) |
| 16 | | 平和、司法 | 戦争撲滅、政治参加 コンプライアンス | 10 | 10 (13) |
| 17 | | パートナーシップ | 企業間協力 諸団体活動への参画 | 4 | 4 (3) |
| 2021年度取組SDGs合計数 | | | | 152 | (150) |

※合計数の()内の数字は前年度実績を表します。

計画したもののやむを得ない事情で実施できなかったもの(評価(-)のもの)は合計数に含みません。

取組SDGs数に関する振り返りと次年度以降の課題

SDGs取組数の振り返り

昨年度よりアイコンベースで2個増加。コストに注目した取組や洪水適応への取組を取り入れたことで、昨年まで全く取り組むことができなかった目標8への取組が取り入れられたことは大きな進歩と言えるでしょう。

次年度以降の課題

目標8については特に気候変動適応への理解はまだ十分に得られておらず、啓発を含め時間をかけて取り組む必要性を感じます。
目標2,10の取組については、他社事例から検討してみることとします。

Check 確認 2021年度環境経営計画SDGs評価点採点結果

この頁は、当レポート19～47頁に記載した取組毎のSDGs評価点を集計したものです。取組内に複数のSDGsがあるものについては評価点はどちらも同じ点数として集計し、最後にそれぞれの平均点を算出し2021年度のSDGsの評価点としました。

| NO. | アイコン | 当社の主な取組 | 掲載頁 | 採点結果 | | | | | | | | | | ※評価点 | | | |
|-------------------------|------|-------------------------------------|----------------------|------|---|---|---|---|---|---|---|----------------------------|---|------|----|---|----------------|
| | | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | 10 | | |
| 1 | | キャップ収集 | 40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 10.0 (10.0) |
| 2 | | 取組なし | — | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | 0.0 (0.0) |
| 3 | | 労働安全衛生 災害物資備蓄 | 22,23 30,39,40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 10.0 (5.0) |
| 4 | | 教育(全般) | 19～23 29～40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 9.6 (8.0) |
| 5 | | 5S | 39 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 10.0 (10.0) |
| 6 | | 訓練(潤滑油漏洩) 教育(水)、生物多様性(定点撮影) | 23 35,40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 9.9 (9.1) |
| 7 | | エコ替え、フィルター交換(灯油) エコドライブ、省エネ診断 | 29,30 39 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 10.0 (6.0) |
| 8 | | 緊急事態(洪水) 電力事業者比較、廃アルミ価格表訂 | 23 29,33 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 6.0 (0.0) |
| 9 | | 緊急事態(洪水)、廃アルミ 化学物質(使用機器の点検) | 23,33,34 36 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 6.9 (7.2) |
| 10 | | 取組なし | — | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | 0.0 (0.0) |
| 11 | | 騒音測定、緊急事態 化学物質管理、ボランティア | 22,23 39,40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 8.3 (8.3) |
| 12 | | 安全衛生教育、各種環境負荷物質 化学物質管理、省エネ診断,CSR | 19,23,29～37 39,40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 8.9 (7.7) |
| 13 | | 簡易点検、エネルギー使用削減 省エネ支援 | 22,29,30 39 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 8.4 (8.1) |
| 14 | | 教育(生物多様性) | 40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 10.0 (9.0) |
| 15 | | 教育(生物多様性)、森林認証紙使用 環境ボランティア | 40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 8.2 (7.8) |
| 16 | | 法令遵守 教育(化学物質、生物多様性) | 22 39,40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 9.9 (7.7) |
| 17 | | ボランティア SDGs情報発信、啓発 | 40 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 9.8 (10.0) |
| 2021年度評価点平均(前年度) | | | | | | | | | | | | 8.9 (6.7) | | | | | |

※評価点の()内の数字は前年度実績を表します。

SDGs評価点の振り返りと次年度以降の課題

昨年度比2.2ポイントの大幅増。昨年度の代表者の指示に基づき計画倒れの項目を環境経営計画から除外したこと、灯油、事業系一般廃棄物といった一部の例外を除き、環境負荷項目の目標値が達成もしくは未達でも90%超(評価点は9点となる)であったことがその理由として考えられますが、全員が意識を高く持ち取り組まなければこのような

高評価を得られようがないので、2021年度については、全社的に例年以上に高い意識を持って環境への取組を実行できたことと評価することとします。しかし、現状弱い部分は時間がかかりそうなものがほとんど。年に1ポイントプラスを目指すくらい地道な取り組みをする必要があります。

9.代表者レビュー

Act
見直し

1)全体的な感想

良くまとまっていると思う。毎年のレポートを見て感じることであるが、執筆者が真剣に、ところどころ楽しんで書いているところが、読者の方々から好感を持って頂ける部分なのだろう。

個別の項目毎の評価と指示内容については、22～46頁を参照下さい。

Act
見直し

2)指示

① 環境経営方針

昨年4月、国の地球温暖化対策計画が改訂され、「2030年度において温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す、さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく」との2030年度中期目標が発表された。それだけでなく2050年においては「カーボンニュートラル」が宣言されるなど、国を挙げて脱炭素社会実現のために大きく動き出すことが考えられる。

幸い当社においては、数年前からこうした取組に関心を持っていたこともあり、現時点にておいて既に年間10t前後の二酸化炭素排出量を維持することができているのは環境管理責任者の報告の通りである。しかし、現状の低排出量を支えているのは再エネ由来の電力によるところが大きいこと、少量ながら残っている灯油、LPG、ガソリンの転換の時期に関する事など、課題も多い。特にグリーン電力については、購入を続けるにあたりコストの問題に直面することも大いに考えられる。

こうした懸念要因がある中で、今の状況を維持し、更に改善を進めるためには、高い目標の策定が不可欠である。既に大幅に達成している状況にある「2030年までに2013年度比50%削減」では、高い目標とは言えない。最低限、グリーン電力の購入を継続すれば達成可能な「2013年度比95%削減」程度の水準に改め、更にカーボンニュートラル達成の目標年度も、環境経営目標に盛り込む必要がある。

については、2022年度より環境経営方針の内二酸化炭素排出量に関する部分を、以下のように改定するものとする。

2030年度に2013年度比95%削減

2035年度カーボンニュートラルを目標とする。

② 環境経営目標及び環境経営計画

2022年度は特に以下の点に注意してほしい。

昨年度、4名の新入社員を迎えた。2022年度の計画策定にあたっては、積極的に彼らに重要な役割を付与するよう努めること。4名の内2名は外国籍(ベトナム)であるが、先輩がフォローすることで役割を立派に務めることは十分可能であると考え。また、こうした経験が彼らの成功体験となり、成長の糧となってくれること、役割の引継ぎ及び実行を通じ、先輩従業員との良好なコミュニケーションが図られることを期待している。

環境管理責任者にあっては、できれば環境負荷項目の削減や法規制関連といった重要な役割を付与するよう努めること。また、実際の取組にあたっては、彼らへのフォローに最大限努めること。

CO₂排出量の削減目標

| 項目 | ※削減目標 | | | | |
|---------------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| | 基準年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2030年度 |
| CO ₂ 排出量 | 2013年度 | 58.0%削減 | 63.0%削減 | 68.0%削減 | 95.0%削減 |

CO₂排出量については、2020年度は9.51t-CO₂と昨年度より約16.5%減少。冬期に閑散期が来たことで灯油暖房器の使用頻度が少なくなったことが大きく影響したように思う。

二酸化炭素排出量の削減目標については、環境経営方針のところで述べた通り、「2030年度に2013年度比95%削減、2035年度カーボンニュートラルを目標とする」と変更する。達成のためには経営陣、責任者のみならず、全従業員の知恵が必要である。従業員間においても達成に向けた活発な意見交換がなされることを期待する。

※(環境管理責任者追記)削減目標の根拠について

CO₂排出量については、まず、国の改正地球温暖化対策計画(2021年4月策定)に基準年度とゴールを合わせる形で目標設定することとしました。

CO₂排出量の目標値のスタートラインを、当社2015年度CO₂排出量の実績値(251,277kg-CO₂)とし、それを上記の目標年度(2030年)までの15年間で95%削減した値(16,317kg-CO₂)に到達するように均等割りして得られた値を各年の削減目標値として設定しています。

その他の項目削減目標

| 項目 | 基準年度 | ※削減目標 | | |
|-------------|--------|---------|---------|---------|
| | | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
| 電力 | 2015年度 | 原単位△7% | 原単位△8% | 原単位△9% |
| 灯油 * | 2010年度 | 原単位△6% | 原単位△7% | 原単位△8% |
| LPG | 2010年度 | 原単位△12% | 原単位△13% | 原単位△14% |
| ガソリン* | 2018年度 | 総量△2% | 総量△3% | 総量△4% |
| 事業系一般廃棄物 | 2014年度 | 総量△7% | 総量△8% | 総量△9% |
| 産廃(廃ウエス) | 2017年度 | 総量△3% | 総量△4% | 総量△4% |
| 紙くず(リサイクル率) | 2010年度 | 11%向上 | 12%向上 | 13%向上 |
| 廃アルミ | 2010年度 | 原単位△12% | 原単位△13% | 原単位△14% |
| 水 * | 2015年度 | 原単位△4% | 原単位△5% | 原単位△6% |
| 炭化水素 | 2017年度 | 原単位△5% | 原単位△6% | 原単位△7% |
| 潤滑油 | 2010年度 | 原単位△11% | 原単位△12% | 原単位△13% |
| グリーン調達率 | - | 78.74% | 79.74% | 80.74% |

※(環境管理責任者追記)削減目標について

- 昨年度未達の項目(*)については、前年度(2021年度)の目標値をスライドしています。
- 削減目標に「原単位」とあるものの原単位については、下記の原単位を目標値とします。

電力、廃アルミ、潤滑油(ラタック) : 洗浄袋数(調整)原単位
当レポート26頁参照。

炭化水素 : 洗浄袋数(調整不要)原単位
(使用量(ℓ)÷洗浄袋数(袋))

LPG、灯油 : 稼働日原単位
(使用量÷稼働日(日))

水 : 稼働時間原単位
(使用量(m³)÷稼働時間(h))

③ 実施体制

今年度は変更の必要なしと判断する。

但し2021年度入社新入社員への役割付与については、指示事項を参考に検討を進めること。

来ハトメ環境トピックス2021

⑤止められた時が、いま動き出した!!

～福島スタディツアー参加体験記～

つい最近のことですが……

記念すべき第一回目の「エコアクション21オブザイヤー」。同賞において当社、全従業員の日頃の成果もあって見事銅賞を受賞したのは沿革で自慢した通り。しかし、1月に予定されていた授賞式は、オミクロンの猛威の影響で、あえなく中止に……。

その穴埋め企画として御案内頂いたのが「福島復興スタディツアー」。

実はこのツアーが催行されたのは2022年5月。当レポートは2021年3月から22年2月までの報告ということでかなりフライング気味ではありますが、こうした情報は鮮度が大切！今回のレポートは予定より頁数少な目(これでも……)で終わったので、参加させて頂いた者の義務を果たすべく、この何ともミステリアスな「福島復興スタディツアー」参加体験記を披露し、今号の結びに変えさせて頂きます。

福島復興スタディツアー体験記

今回の拠点となるのは福島県大熊町。東日本大震災で津波被害を受け爆発事故を起こした福島第一原子力発電所の所在地、と言えば分かりやすいでしょうか。

迎えの車に乗り込み、一路宿泊地「ほっと大熊」へ。その道すがら、早くもそこには目を疑う光景が広がっていました。

広大な荒れ地と時折すれ目にする作業車両のほかは、すれ違う車も人もほぼ皆無。そこは何度も足を踏み入れたことがある数多の田舎と呼ばれる地のそれとは明らかに違う雰囲気でした。そしてその後訪れた見学地や各地でお聞きした現地の方々の講話を通じて、その理由を思い知らされることとなるのです……。

新しい街、そして……

翌朝、宿泊施設の周囲を散策してみました。道路脇のあちこちに小型風力発電機(写真左)が設置され、町内を循環するバスは電動(写真右)。一見するとかなり先進的ともいえる光景がそこには広がっていました。大熊町は「2050ゼロカーボン宣言」を2020年2月に発表、今話題、そしてこのレポートでも度々話題に挙げた脱炭素に積極的に取り組む自治体なのです。



「今回の目的は環境先進都市の視察？」

そんなあっけらかんとした思いは、今回のツアーの最初の目的地「とみおかアーカイブ・ミュージアム」であっけなく叩き潰されることとなります……。

「とみおかアーカイブ・ミュージアム」はいわば富岡町の歴史民俗資料館。原始時代から現在に至る富岡町の歴史を数々の資料を通して学ぶことができる施設です。ゆえにこの施設には2011年3月11日の個置くと、その後発生した原発事故に端を発する町民の苦悩の記録についても、克明に伝承していくという使命も併せ持っているのです。

富岡町は、今回の旅の拠点の大熊町の南に位置する町。ゆえに3.11では震災被害だけでなく、大熊町同様、原発事故の影響ももろに受けてしまった地の一つ。従って、この地の住民は地震と津波の驚異だけでなく、



津波被害を受けたパトカー(避難するよう呼びかけ続けた2人の警察官は殉職されたという。(とみおかアーカイブ・ミュージアム展示品))

原発事故に端を発する避難生活をも強いられることとなったのです。

ほとんどの住民は訳も分からぬまま迎えのバスに乗り込み、避難を余儀なくされることに。

「避難は数日で終わり、すぐに帰ってこられるだろう」との思いから、多くの人が軽装備で避難所へと向かったといいます。しかし避難はいつまで経っても終わらず、大切な我が家に帰ることはおろか、足を踏み入れることすら許されない状況に……。

原発周辺の地域のニュースでよく「帰還困難区域」という言葉を耳にすることがあります。これは実はこのような地域のことで、自分の家でありながら、原発事故により放出された放射性物質のせいで、居住はおろか帰ることすらできない場所のことをいいます。

3.11そして原発事故から11年。そんな長い時を経た今でも、こうした「帰還困難区域」が原発周辺の自治体には残っており、そこでは今でも人の営みがストップし続けているのです。

時間が止まった街の今

国道6号線をはじめ、一部の国道・県道は帰還困難区域の中を通過しているものがあります。それらは、通行こそ許されてはいるものの、居住や営業活動はもちろん禁止。そのため、大熊町の国道6号を通過してみると、そこには一種異様な光

景が……。点在する商店は全てしまっており、全てどこか古めかしい……。そう、原発事故による避難の時から、帰還困難区域の時は止まってしまっているのです。



国道6号線沿いの商店跡(原発事故のときから時を止めた商店や住居が多数点在している)

時が止まった街の様子を見るのもかなりショッキングですが、次に向かった「中間貯蔵施設」ではもっとショッキングな光景を目の当たりにすることとなります。

中間貯蔵施設のリアル

「中間貯蔵工事情報センター」。大熊町にあるこの施設は「中間貯蔵工事」の全体像と「中間貯蔵施設」の見学を行っている施設。これだけ聞くと何のことやさっぱり分かりませんが、言ってみれば福島県内全域での除染で集めた土やごみを集め、最終処分するまで貯蔵する施設のこと。

その面積たるや実に1,600ha。渋谷区1個がすっぽり入ってしまい、東京ドームならば実に320個分という驚きの大きさですが、この場所は実は3.11以前は人々の日常が営まれていた場所というから、とても複雑な気持ちになります。

このツアー中何度となく聞いた「重い決断」という言葉。名産品だったナシやキウイの畑が、そしてふるさとが、わが家が除染作業のために犠牲になってしまうことを許すことが、どれだけ「重い決断」だったことでしょうか。原発事故のためにこの地の多くの方が、愛すべきふるさとを捨てざるを得なかったのです。



中間処理施設の土壌貯蔵現場の様子(小さく見えるがシートがかかった部分の高さは15m。遠くに福島第一原子力発電所が見える)

では、これだけ聞くと現地の方はどんなに現実を恨んでいるのか、と思いたくるところですが、実はこんな逆境にあって、それを感じさせないほど前向きに、復興のために力を尽くされている方もたくさんいらっしゃるのです。そんな方々から頂いたパワーを存分に振りまいて、今回のレポートを締めたいと思います。

時よ、動き出せ！～復興に向けての取組～

元大熊町の町議会議員で現在は総務省行政相談委員の松永 秀篤氏は「帰ってこられなくても目を向けてくれるような状況を作りたい、町外の方がどんどん来てくれてにぎやかになってくれれば」との思いで若者に交じって精力的に活動されています。

特に大熊町大字熊川地内にて300年続く伝統行事「熊川稚児鹿舞(くまかわちごししまい)」の保存を「世界中の人たちへの恩返しのためにも」との思いで、ライフワークにされています。

大熊町出身で一級建築士の吉田 学氏は、大熊町をはじめ原発事故で被害を受けた自治体を多数有する浜通りにおいて、その地の若者の連携を通じて持続可能な経済や次世代の人材育成を目指す団体「一般社団法人 HAMADOORI13」を主宰。浜通り地域で寄与する若者の起業を支援する「フェニックスプロジェクト」を立ち上げ、雇用を生みながら若者を増やす取り組みを積極的に行われています。

また、今回のツアーガイドを務めて下さった「一般社団法人 HAMADOORI13」の企画課長を務める佐藤 亜紀氏も、大熊町の復興をイチゴ栽培で盛り上げる「ネクサスファームおおくま」工場長の徳田 辰吾氏も大熊町を心から愛し、前を向いて進んでおられるのがとても印象的でした。

因みに、佐藤氏、徳田氏は県外出身。こうした強力なサポーターの力も、復興の大きな力になっていることを実感させられました。



ネクサスファームおおくま(ほぼ全自動、複数回の放射線量チェックを実施し、安心、安全なイチゴを全国に出荷している)

最後に～自分でもできる復興支援～

「福島に来てほしい！福島の野菜を食べてほしい!!」

先に御紹介した松永氏の言葉です。この言葉こそ、地元の方が望んでおられる支援の全てだと、私は感じました。復興を強烈に阻むのは実は多くの人々の心に宿る原発事故のマイナスイメージ。それを溶かすためには現地の方の想いを知る者が広告塔となり、こうしたイメージ払しょくの宣伝に努めるしかない。微力ながら、私も協力するぞ！と強く心に誓った次第です。最後に、これを読まれた誰かの心に響き「自分も福島を応援しよう！」と思われる方が一人でも増えることを切に願う次第です。これこそ、福島の今を体感し、現地の方々の熱い思いを受け取った私の、一つの使命なのであります。